

第2期森町まち・ひと・しごと創生総合戦略

若年層アンケート調査

報告書

令和2年10月

森 町

目次

I	調査概要	1
II	調査結果	2
	(1) 回答者の属性	2
	(2) 調査結果	4
	1 結婚について	4
	2 子ども・子育てについて	9
	3 今後のまちづくりについて	17
	4 第1期の施策について	23
	(3) 自由意見	25
III	調査票	34

I 調査概要

■調査の目的

本調査は、人口の減少や流出に歯止めをかけるとともに、住みよい環境を確保し、将来にわたって活力あるまちを維持していくため、平成27年度に策定する「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」に、広く町民の意見・意向を反映することを目的としています。

■調査の方法

若年世代の意識・希望調査	
対 象	森町に在住の19歳～40歳までの方1,000人（無作為抽出）
方 法	郵送による配布・回収 ※配布用紙に添付したURL（静岡電子申請サービス）を活用してオンラインでの回答も併用
期 間	令和2年8月5日に配布し、8月19日を返信期限として回収
回収状況	有効回収数273票、有効回収率27.3%
調査項目	回答者の属性 結婚について 子ども・子育てについて 今後のまちづくりについて

■調査結果の見方

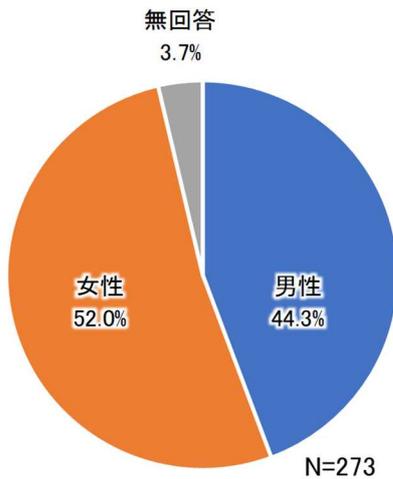
- 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。このため、百分率の合計が100.0%にならないことがあります。
- 基数となる実数はNとして掲載し、各グラフの比率はNを母数とした割合を示しています。
- 一部のグラフについて、クロス集計をする上で「無回答」を省略しているものがあります。
- 1人の回答者が複数回答する設問では「MA」と表示しています。この場合、その比率の合計は100.0%を上回ることがあります。

Ⅱ 調査結果

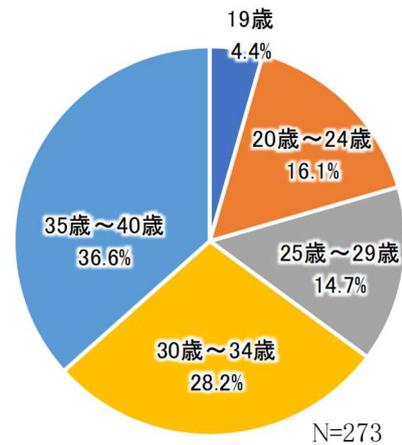
(1) 回答者の属性

【問1】回答者の属性

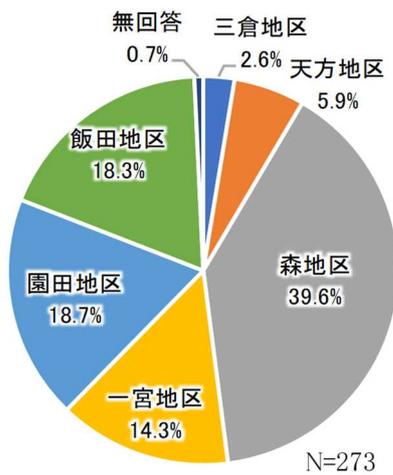
<性別>



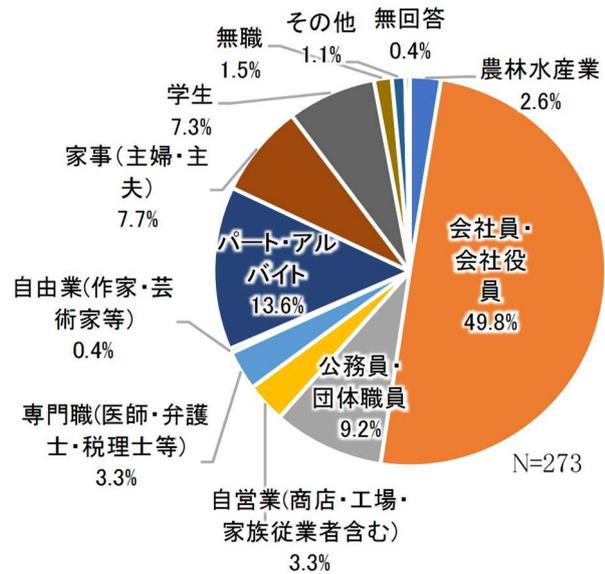
<年齢>



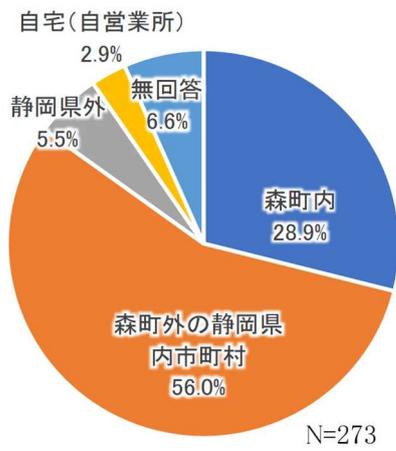
<居住地>



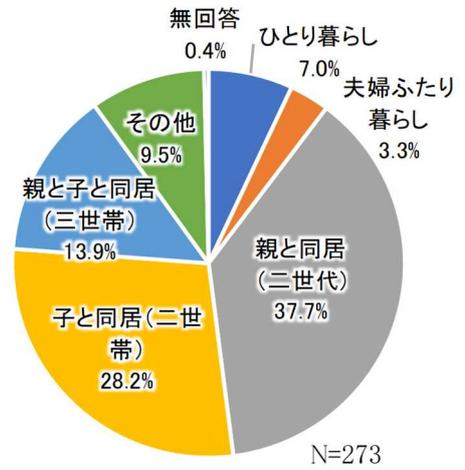
<職業>



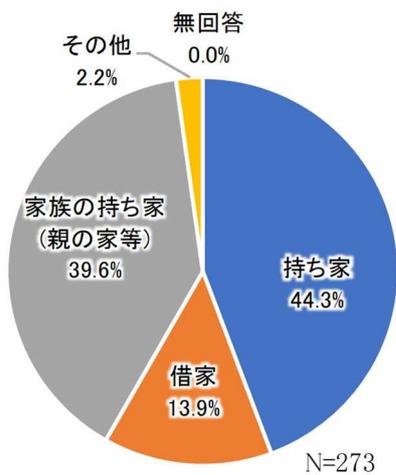
<通勤・通学先>



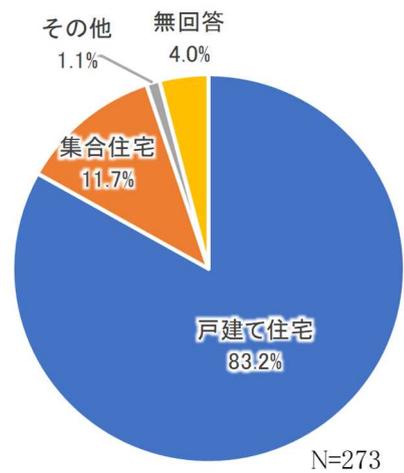
<家族構成>



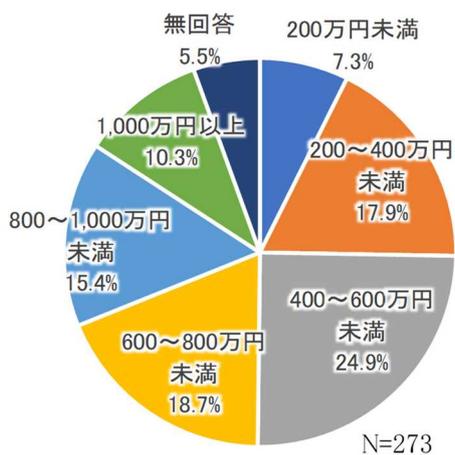
<住宅の所有形態>



<住宅の種類>



<世帯の総年収>

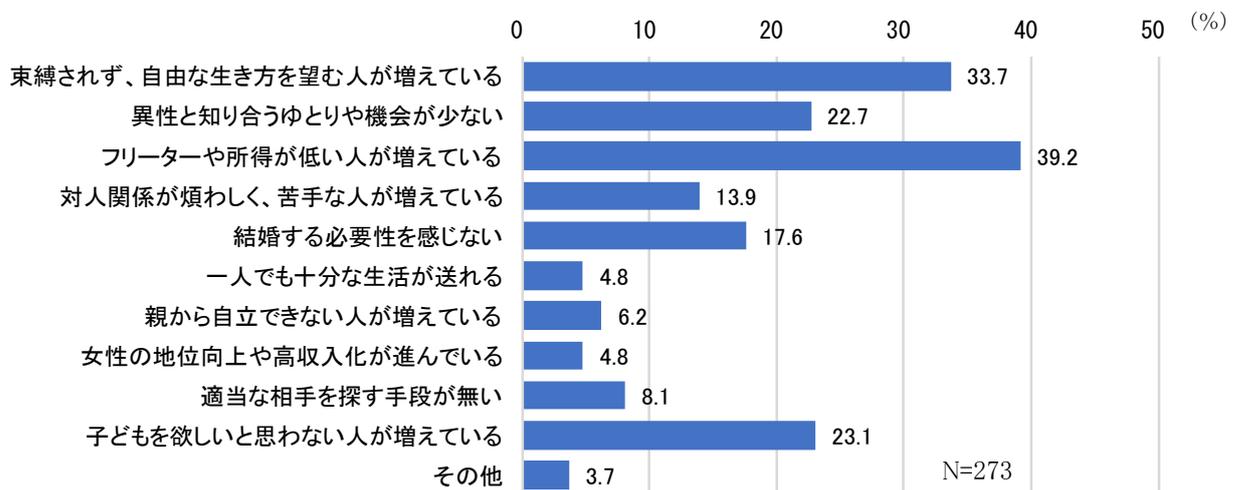


(2) 調査結果

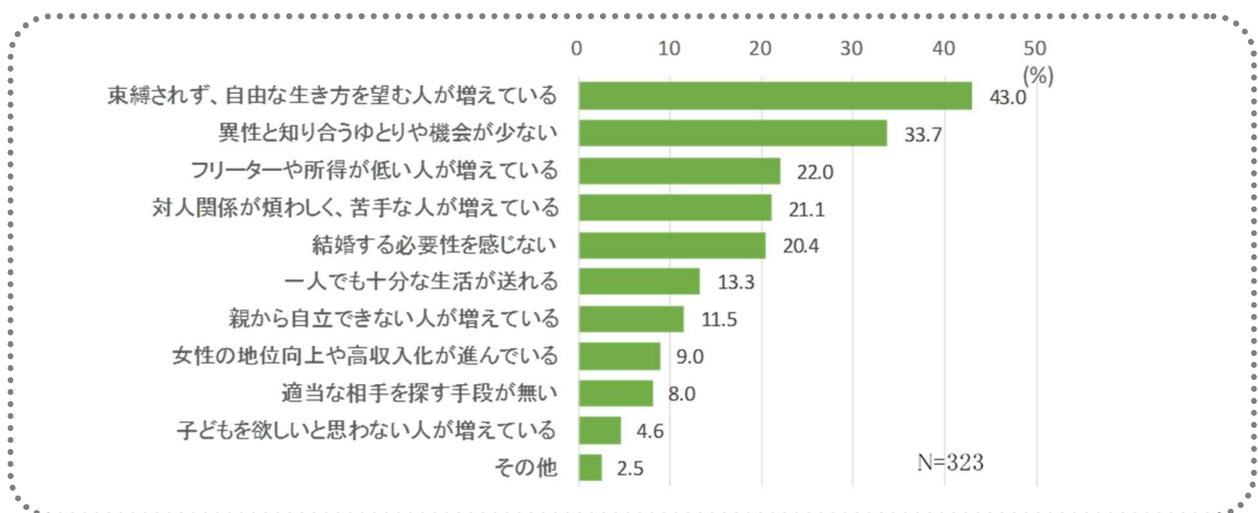
1 結婚について

【問2】結婚しない人や、晩婚の人が増えていると言われて中、主な原因は何だと思いますか。〈MA〉

- 「フリーターや所得が低い人が増えている」が39.2%で最も多く、次いで、「自由な生き方を望む人が増えている」が33.7%、「子どもを欲しいと思わない人が増えている」が23.1%、「異性と知り合うゆとりや機会が少ない」が22.7%と多くなっています。
- 前回と比較すると、「フリーターや所得が低い人が増えている」が22.0%から39.2%、「子どもを欲しいと思わない人が増えている」が4.6%から23.1%と多くなっています。



〈前回の調査結果〉



【問3】一般的に、結婚適齢期は何歳だと思いますか。

- 結婚適齢期については、全体平均で 28.1 歳（男性の平均で 28.3 歳、女性の平均で 27.8 歳）であり、前回より 0.4 歳高くなっています。

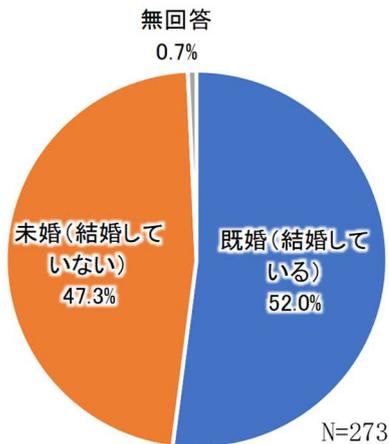
全体：28.1 歳（男性：28.3 歳、女性：27.8 歳、性別無回答：29.2 歳）

〈前回の調査結果〉

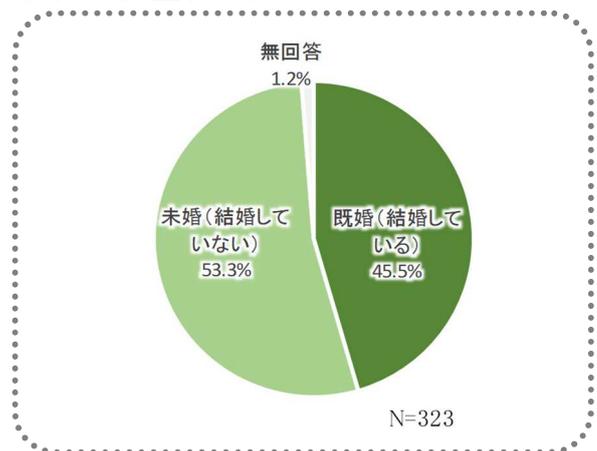
全体：27.7 歳（男性：28.1 歳 女性：27.3 歳）

【問4】あなたは、ご結婚されていますか。〈SA〉

- 「既婚（結婚している）」は 52.0%、「未婚（結婚していない）」は 45.5%となっています。
- 前回と比較すると、「既婚（結婚している）」の割合が高くなっています。



〈前回の調査結果〉



《問4で「既婚」と回答した方のみ》

【問4-1】あなたは、何歳で結婚されましたか。〈SA〉

- 結婚した年齢については、全体平均で 26.4 歳（男性の平均で 27.0 歳、女性の平均で 26.0 歳）であり、前回より 0.7 歳高くなっています。

全体：26.4 歳（男性：27.0 歳、女性：26.0 歳、性別無回答：25.9 歳）

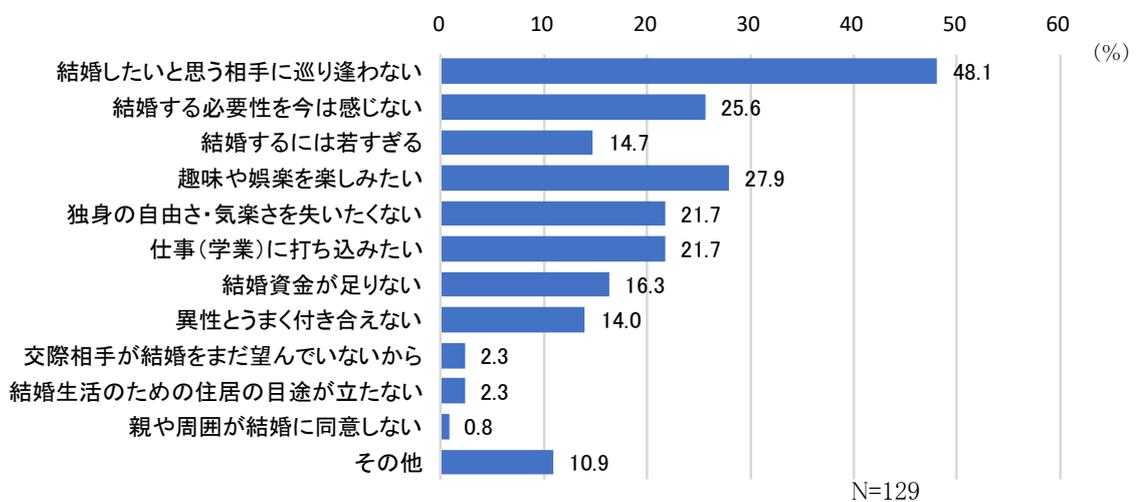
〈前回の調査結果〉

全体：25.7 歳（男性：26.7 歳 女性：25.1 歳）

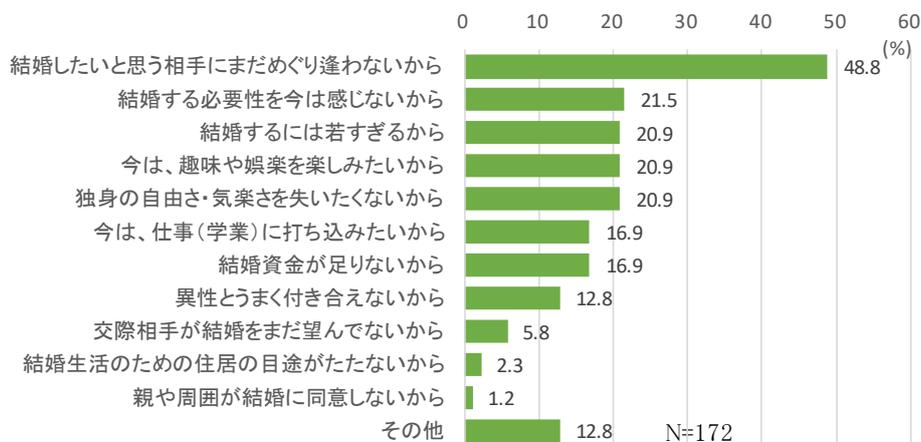
《問4で「未婚」と回答した方のみ》

【問4-2】あなたが、結婚していない主な理由はどのようなことですか。〈MA〉

- 結婚していない主な理由としては、「結婚したいと思う相手に巡り逢わない」が48.1%で最も多く、次いで、「趣味や娯楽を楽しみたい」が27.9%、「結婚する必要性を今は感じない」が25.6%と多くなっています。
- 前回と比べると、「趣味や娯楽を楽しみたい」や「結婚する必要性を今は感じない」と考える人が多くなっています。

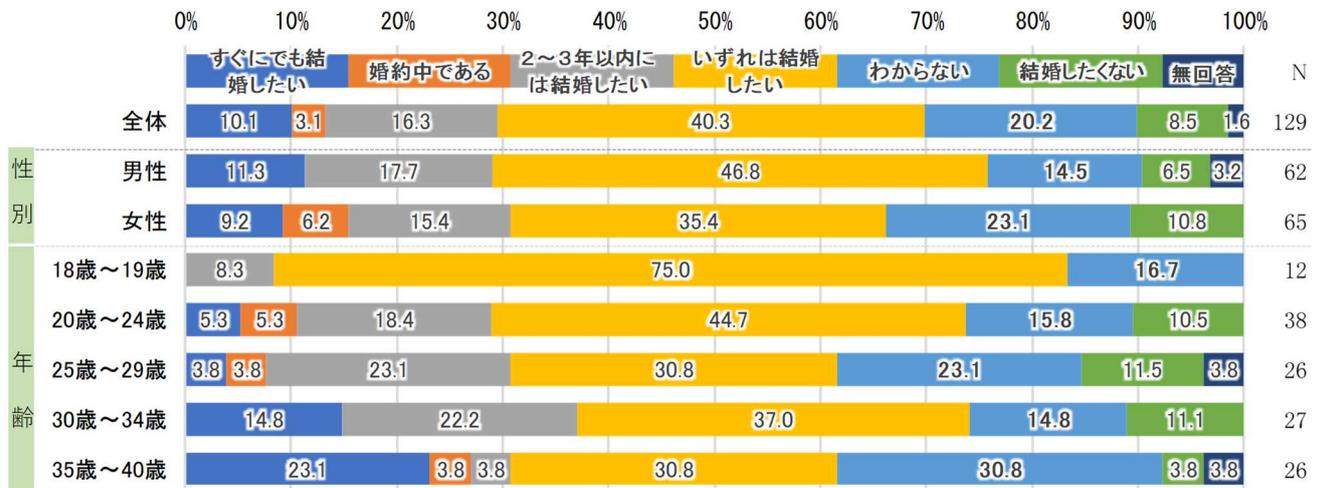


〈前回の調査結果〉

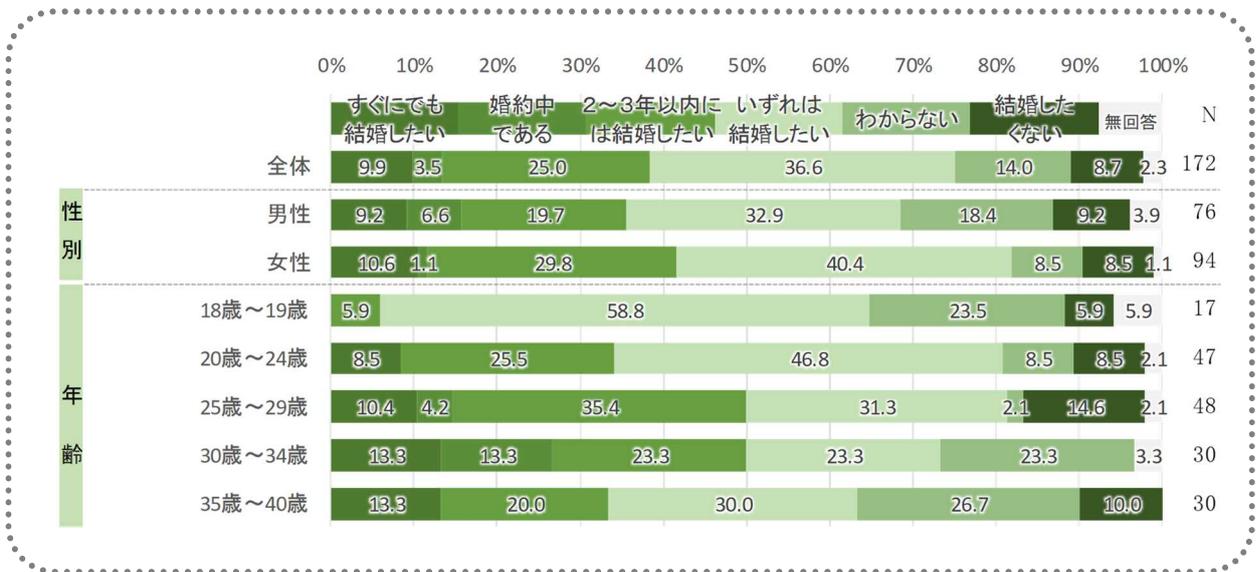


【問4-3】あなたは、今後、結婚したいと思いますか。〈SA〉

- 「すぐにでも結婚したい」が10.1%、「婚約中である」が3.1%、「2～3年以内には結婚したい」は16.3%、合わせて29.5%が数年以内に結婚したいという意向があり、「いずれは結婚したい」の40.3%を合わせると、69.8%が結婚意向を持っています。前回の調査結果では75.0%であり、やや下がる結果となりました。
- 一方、「結婚したくない」は8.5%であり、前回の8.7%とほぼ同じ結果となっています。

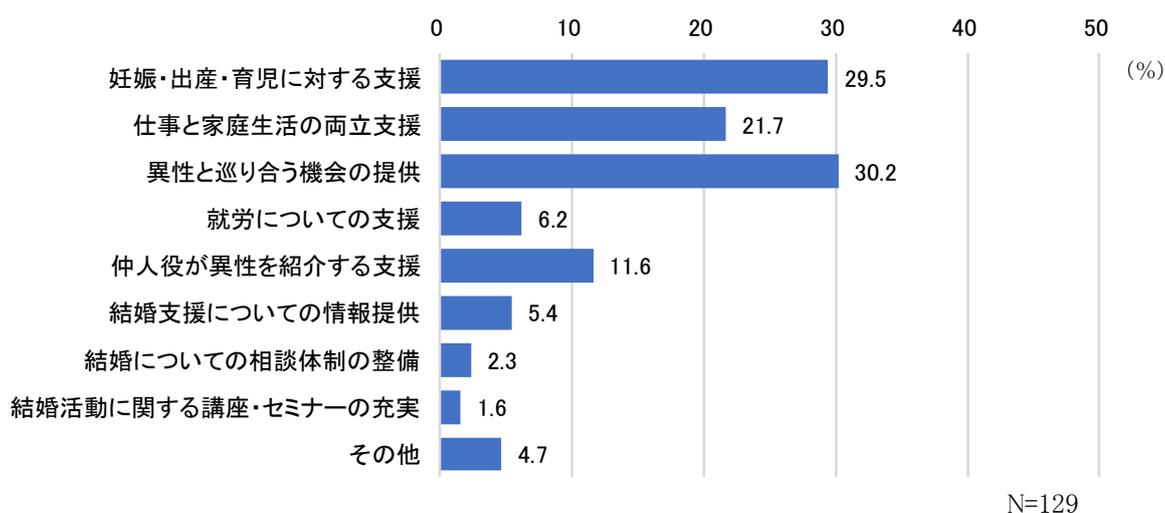


〈前回の調査結果〉

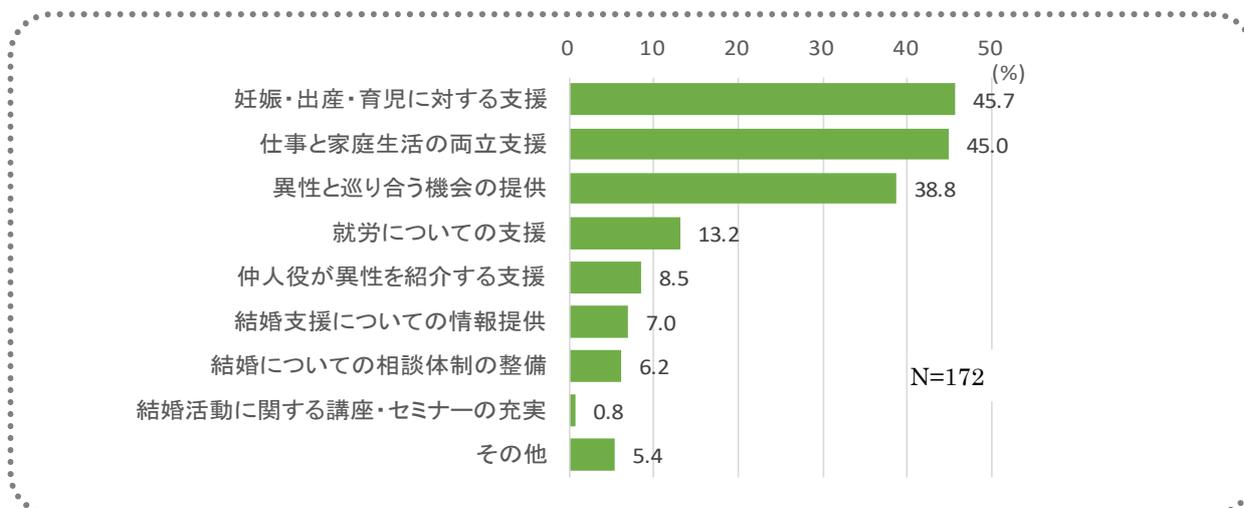


【問4-4】結婚したい人が結婚するためには、どのような支援が必要であると思いますか。〈MA〉

- 結婚に対する支援としては、「異性と巡り合う機会の提供」が30.2%、「妊娠・出産・育児に対する支援」が29.5%、「仕事と家庭生活の両立支援」が21.7%と多くなっています。
- 前回と比べると、上位3つの順位に変化はないものの、「仕事と家庭生活の両立支援」が45.0%から21.7%と大きく下がりました。



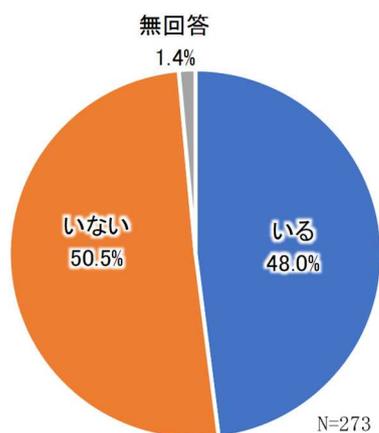
〈前回の調査結果〉



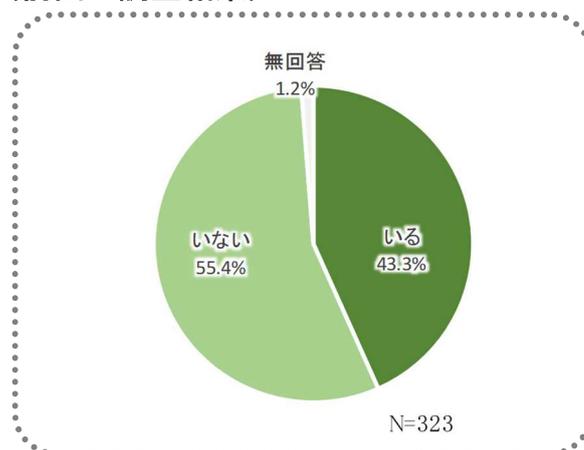
2 子ども・子育てについて

【問5】あなたは、子どもさんはいらっしゃいますか。〈SA〉

- 子どもが「いる」が48.0%、「いない」が50.5%となっています。
- 前回と比べると、「いる」の割合がやや高くなっています。



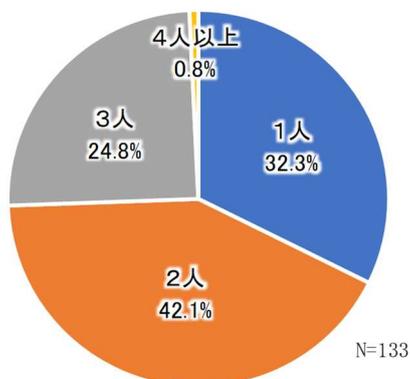
〈前回の調査結果〉



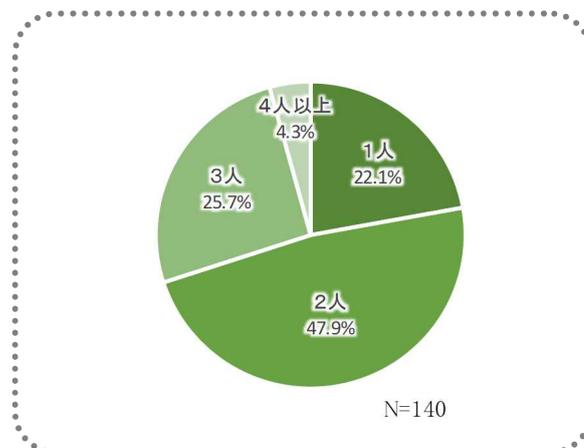
《問5で「子どもがいる」と回答した方のみ》

【問5-1】子どもの数 〈SA〉

- 子どもの数は、「2人」が42.1%で最も多く、以下、「1人」が32.3%、「3人」が24.8%となっています。
- 前回と比較すると、「1人」の割合が高くなっており、前は「3人」が「1人」を上回っていましたが、今回は「1人」の方が多くなっています。

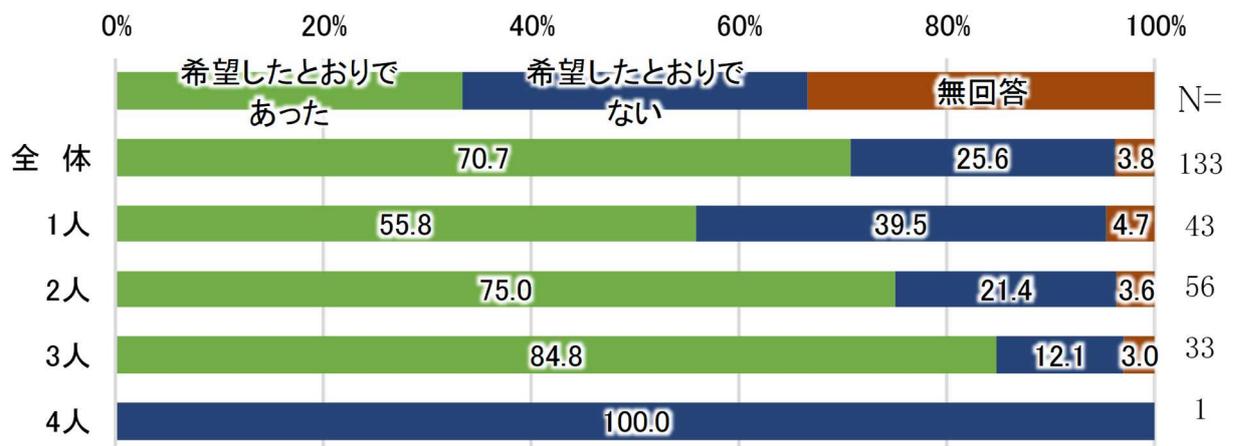


〈前回の調査結果〉

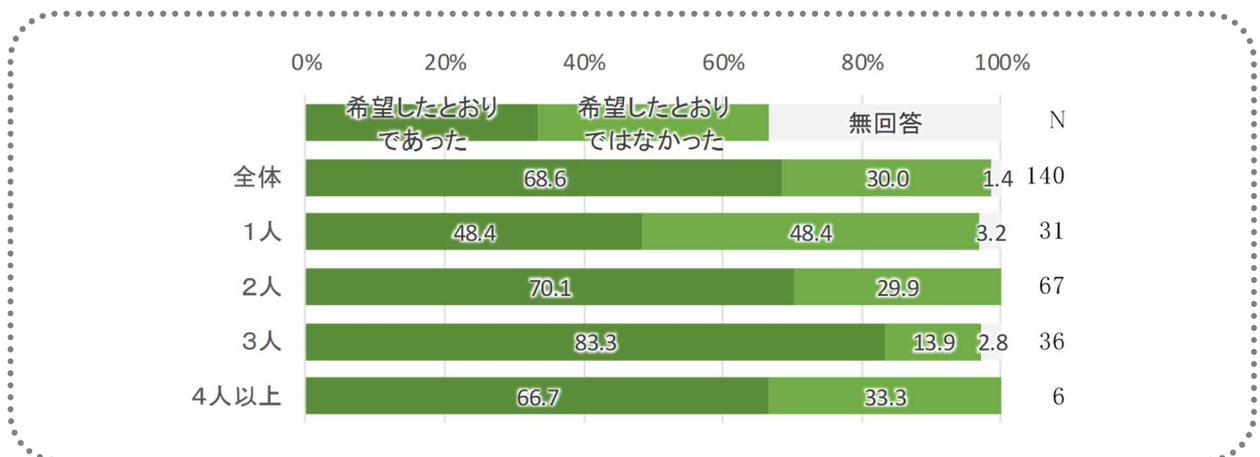


【問5-2】あなたのお子さんの数は、希望されたとおりでしたか。〈SA〉

- 全体では「希望したとおりであった」は70.7%、「希望したとおりではなかった」は25.6%となっています。
- 「希望どおりではなかった」割合を子どもの数別にみると、「1人」では39.5%、「2人」では21.4%、「3人」では12.1%、「4人以上」では100.0%となっています。
- 5年前と比較すると、希望する子どもの数が「1人」の人の割合が48.4%から55.8%と増えています。多子を希望する人が減少している傾向が見受けられます。

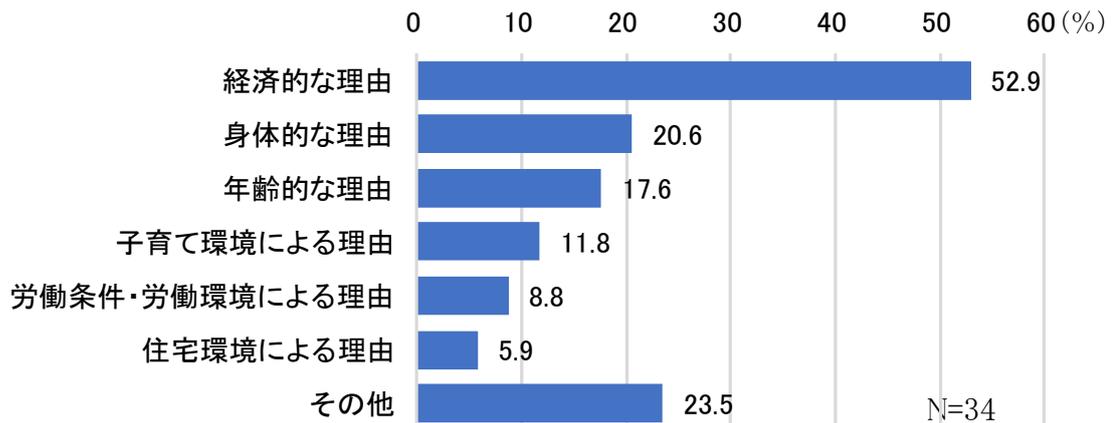


〈前回の調査結果〉

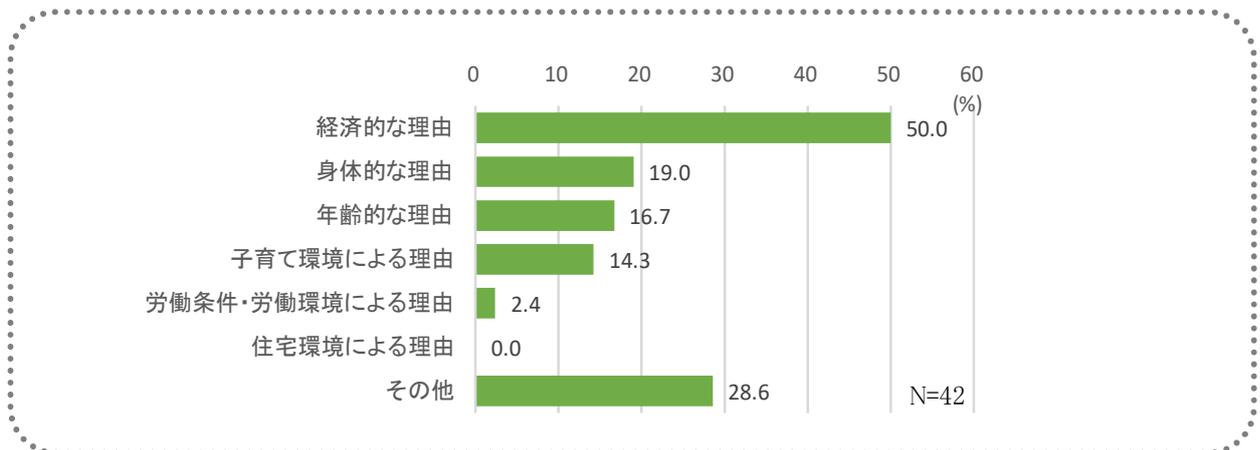


【問5-3】希望どおりではなかった理由は何ですか。〈MA〉

- 希望どおりではなかった理由としては、「経済的な理由」が52.9%と最も多くなっています。次いで、「身体的な理由」20.6%、「年齢的な理由」17.6%となっています。5年前と比較して、希望どおりの子どもが持てない理由がほぼ同じ順位と割合で推移しています。5年前には回答者のいなかった「住宅環境による理由」が5.9%に上がっています。

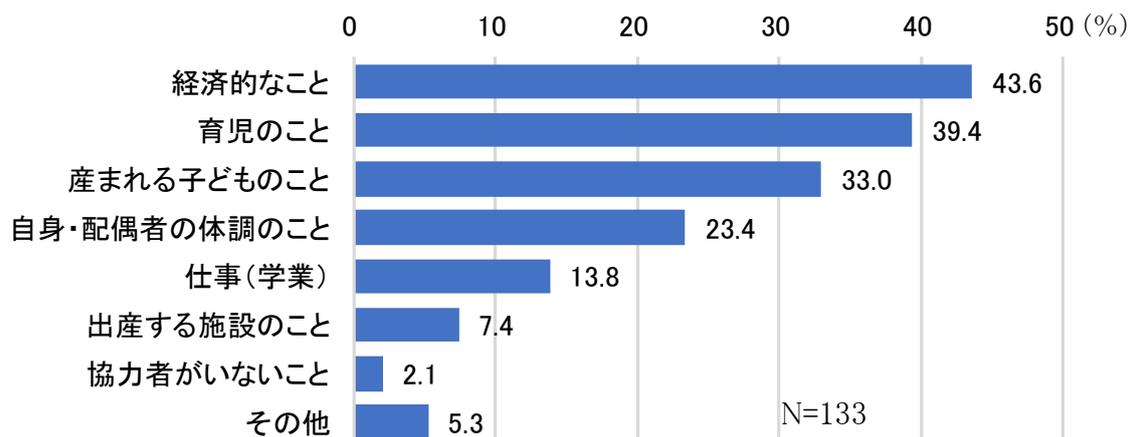


〈前回の調査結果〉

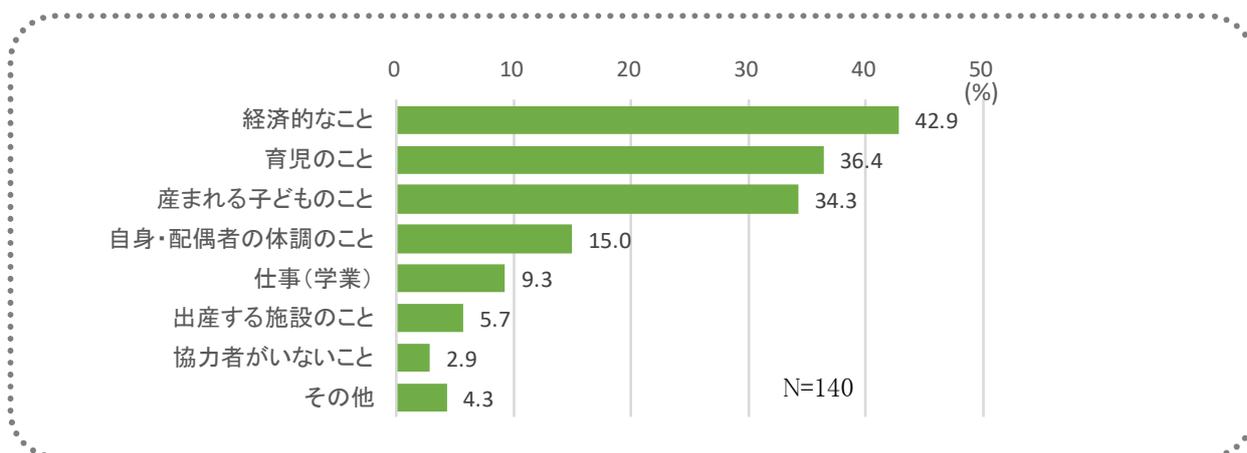


【問5-4】あなた若しくは配偶者が妊娠・出産にあたり、不安なことはありましたか。〈MA〉

- 妊娠・出産にあたっての不安なこととしては、「経済的なこと」が43.6%と最も多く、次いで「育児のこと」39.4%、「産まれる子どものこと」が33.0%と続いています。不安に思うことの順位に変動はないものの、「自身・配偶者の体調のこと」を上げた人は前回の15.0%より増え、23.4%となっています。出産の高齢化の影響と思われます。

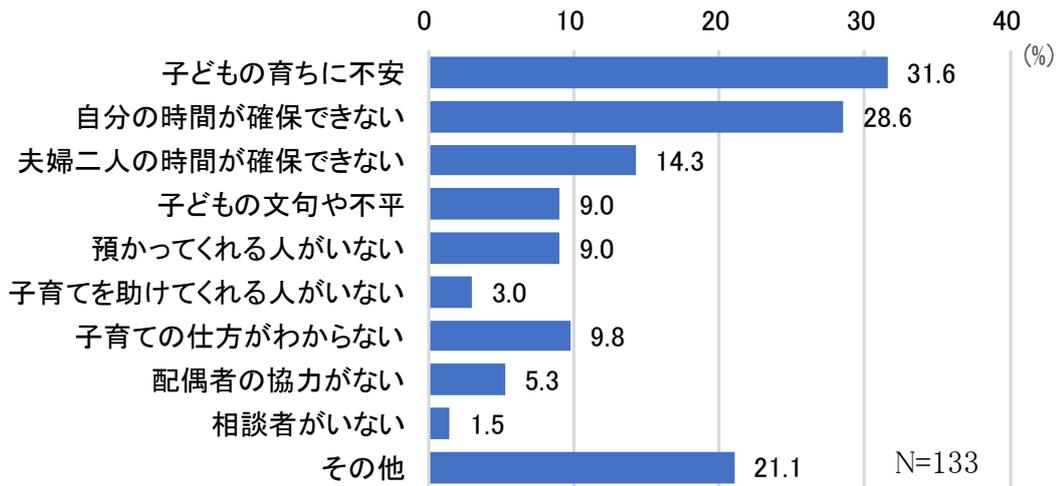


〈前回の調査結果〉

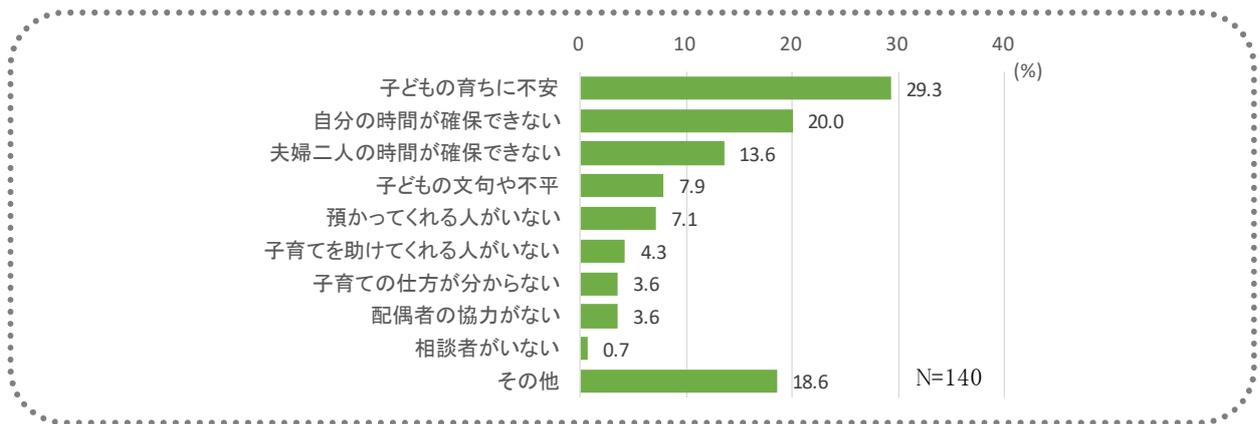


【問5-5】子育てについて、不安なことはありますか。〈MA〉

- 子育てについての不安なこととしては、「子どもの育ちに不安」が31.6%、「自分の時間が確保できない」が28.6%、「夫婦二人の時間が確保できない」が14.3%と多くなっています。
- 前回と比較すると、上位3つの順位に変化はないものの、「自分の時間が確保できない」や「子育ての仕方がわからない」の割合が増えています。

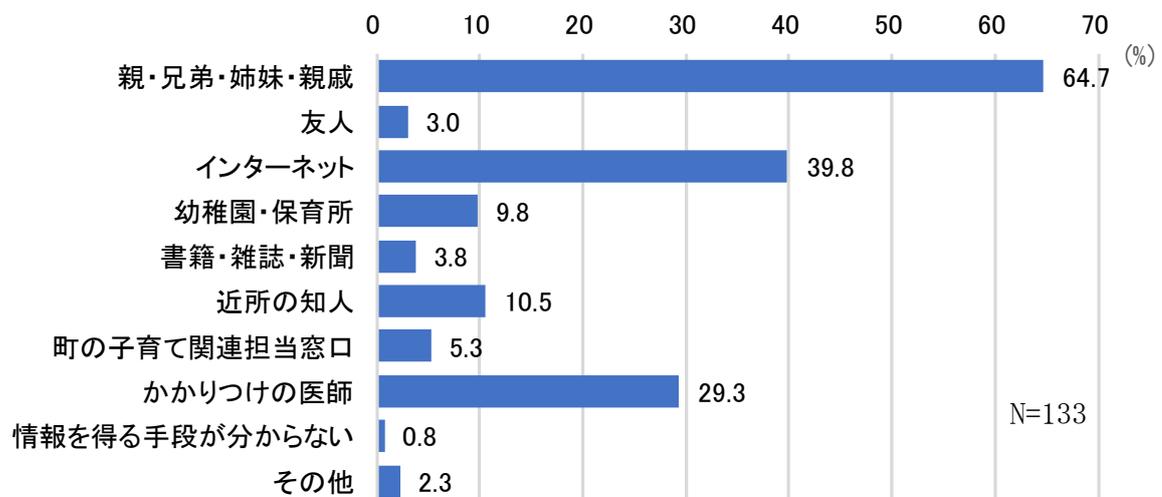


〈前回の調査結果〉

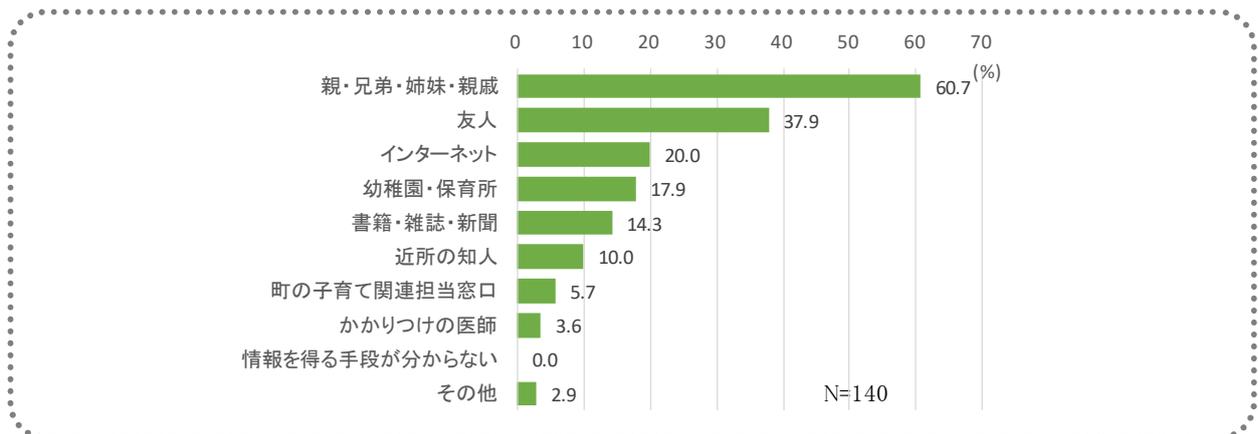


【問5-6】子育て情報は、おもに誰・何から収集しましたか。〈MA〉

- 「親・兄弟・姉妹・親戚」が64.7%で最も多く、次いで、「インターネット」が39.8%、「かかりつけ医」が29.3%と続いています。
- 前回と比較すると、「インターネット」や「かかりつけ医」の割合が高くなり、一方で、「友人」は前回の37.9%から3.0%に大きく減少しています。専門的な知識や情報も入手しやすいインターネットや医師からの情報収集など、精度の高い情報収集を行う傾向が強くなったと思われます。



〈前回の調査結果〉



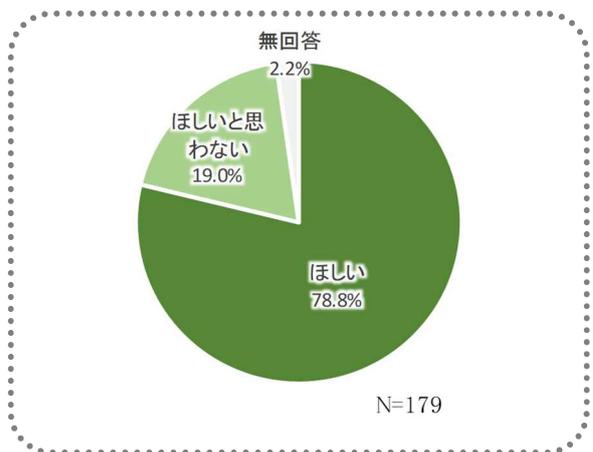
《問5で「子どもはほしい」と回答した方のみ》

【問5-7】あなたは、将来、子どもがほしいと思いますか。〈SA〉

- 将来に子どもが「ほしい」が74.3%、「ほしくないと思わない」が24.3%となっています。
- 前回より「ほしい」と答えた人の割合は4.5%少なくなっています。

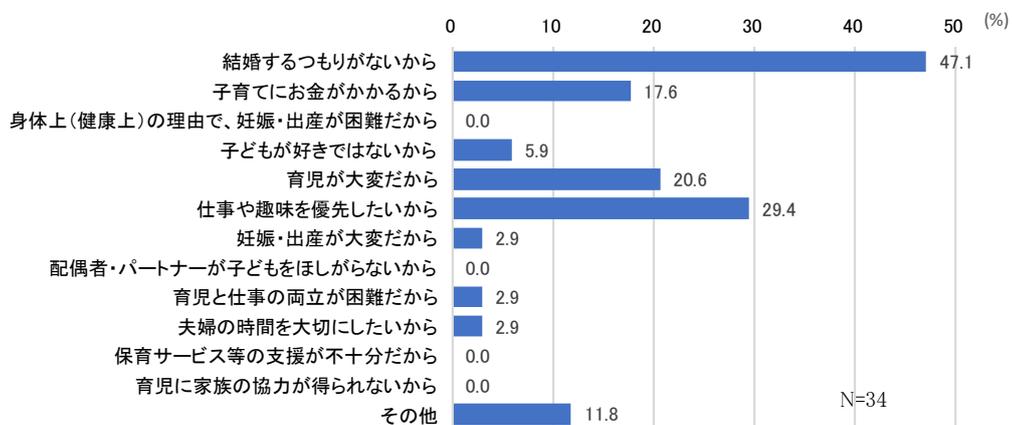


〈前回の調査結果〉

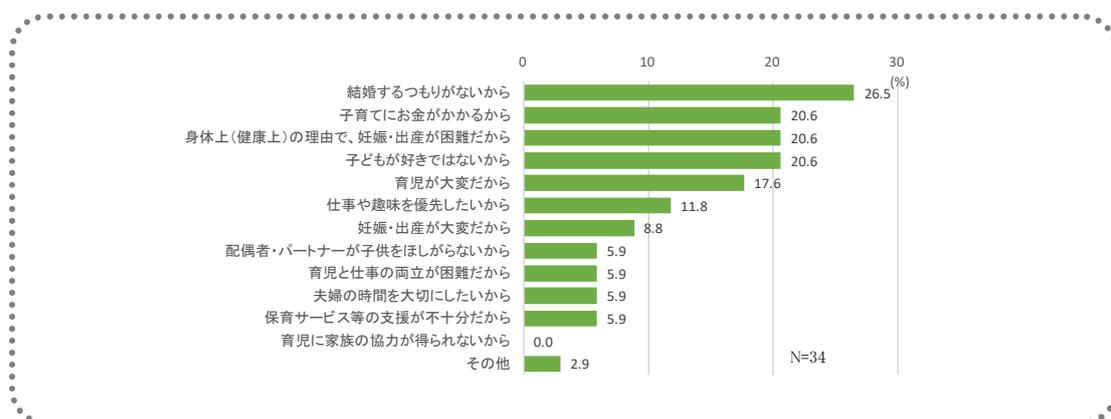


【問5-8】子どもがほしいと思わない理由は何ですか。〈MA〉

- 子どもがほしいと思わない理由としては、「結婚するつもりがないから」が47.1%で最も多く、次いで「仕事や趣味を優先したいから」が29.4%、「育児が大変だから」が20.6%と続いています。



〈前回の調査結果〉

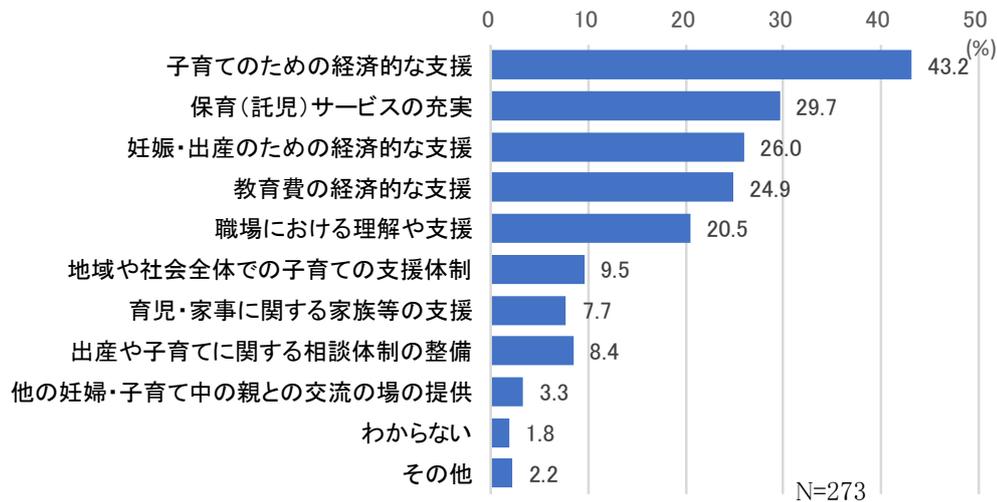


【問5-9】もし、子どもがほしいと思わない理由が解消されたとしたら、ほしいと思う子ども数は何人ですか。

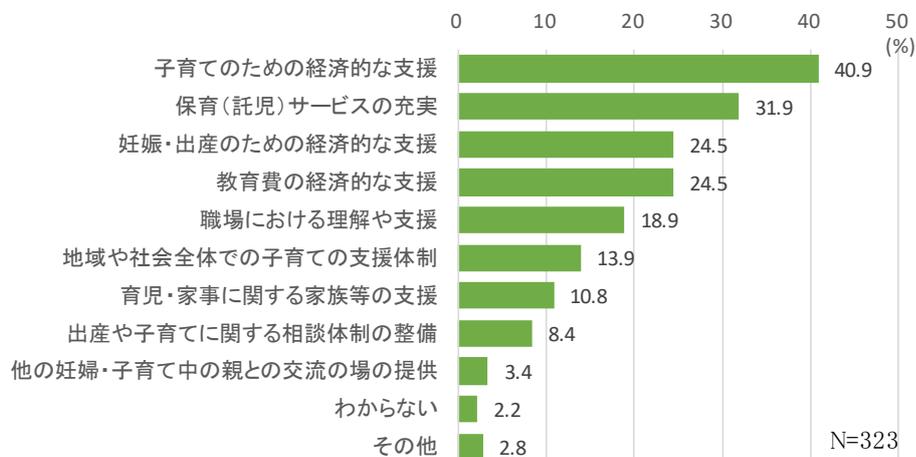
- 平均で 1.45 人となっており、前回の 1.57 人からやや少なくなっています。

【問6】安心して子どもを産むためには、どのような支援が必要と思いますか。
〈MA〉

- 安心して子どもを産むための支援としては、「子育てのための経済的な支援」が 43.2%と最も多く、次いで、「保育（託児）サービスの充実」が 29.7%、「妊娠・出産のための経済的な支援」が 26.0%、「教育費の経済的な支援」が 24.9%と続いており、経済的な支援を必要と考える人が多くなっています。
- 前回と比較しても、ほぼ同様の結果となっています。



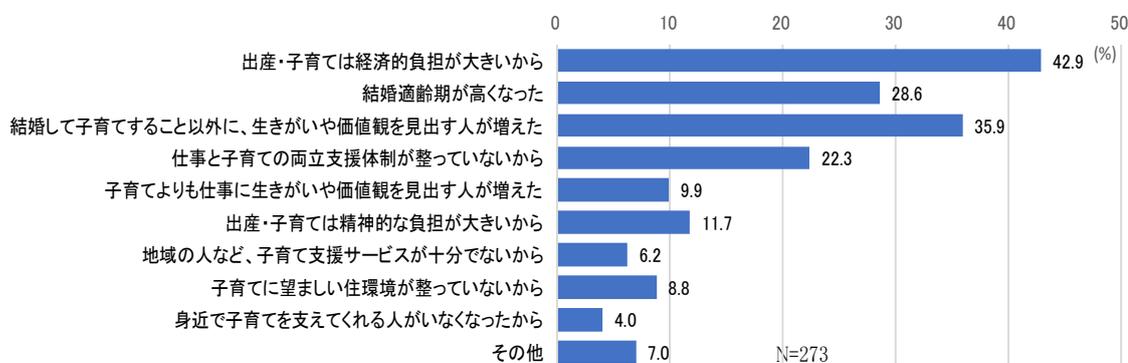
〈前回の調査結果〉



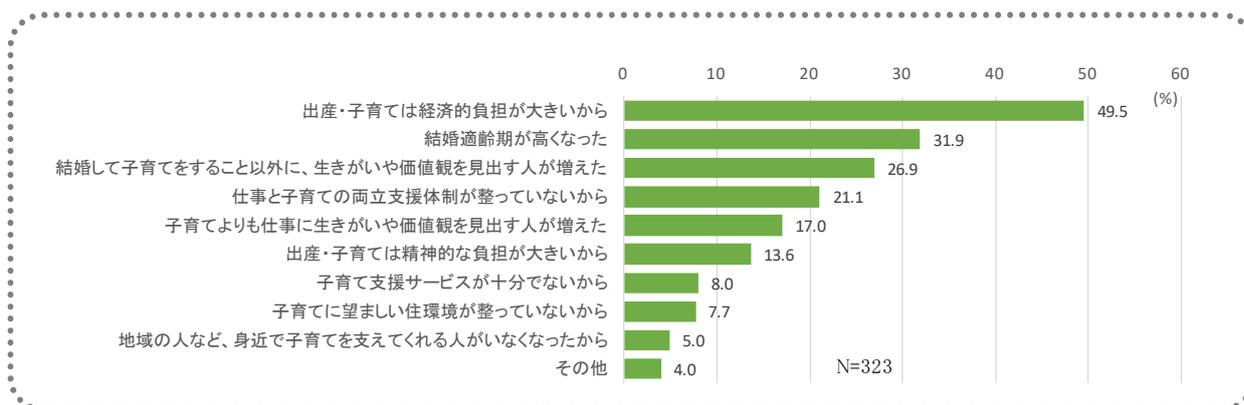
3 今後のまちづくりについて

【問7】子どもの数が減ったと言われている中で、それらの主な原因は何だと思いますか。〈MA〉

- 「出産・子育ては経済的負担が大きいから」が42.9%で最も多く、次いで、「結婚して子育てすること以外に、生きがいや価値観を見出す人が増えた」が35.9%、「結婚適齢期が高くなった」が28.6%と続いています。
- 前回と比べると、上位3つの順位に変化はないものの、「結婚して子育てすること以外に、生きがいや価値観を見出す人が増えた」が26.9%から35.9%に上昇しています。

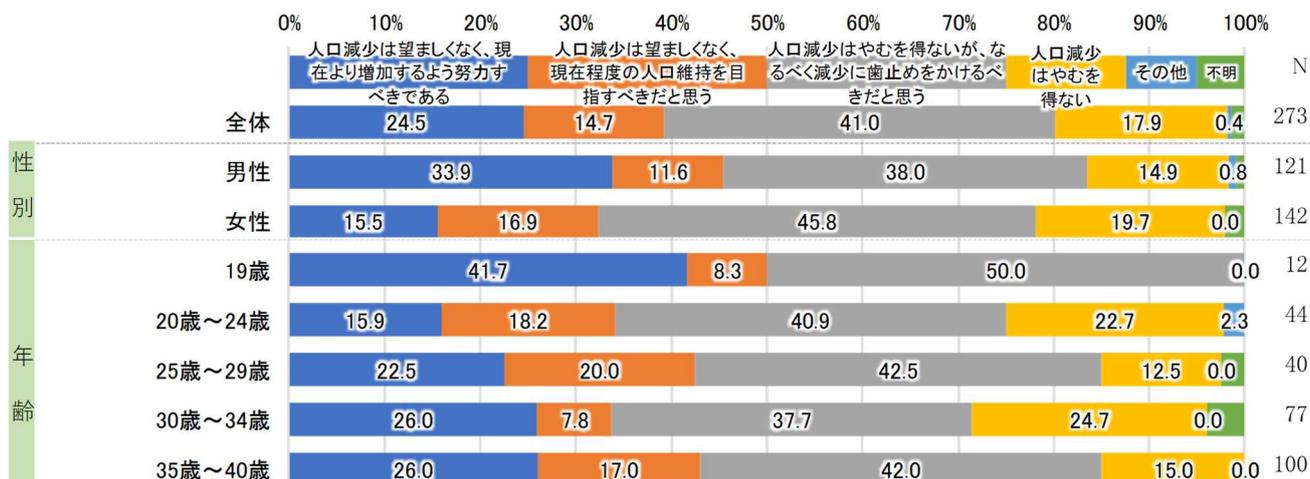


〈前回の調査結果〉

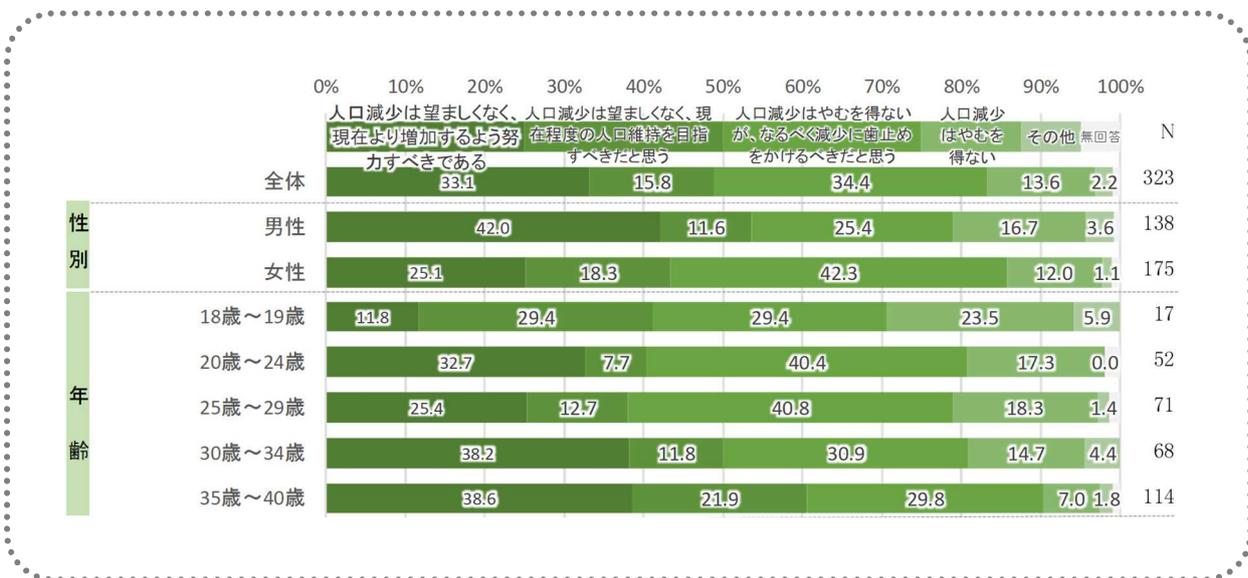


【問8】森町の人口が減少していくことについて、あなたの考えに最も近いものをお聞かせください。〈SA〉

- 「人口減少はやむを得ないが、なるべく減少に歯止めをかけるべきだと思う」が41.0%で最も多くなっています。

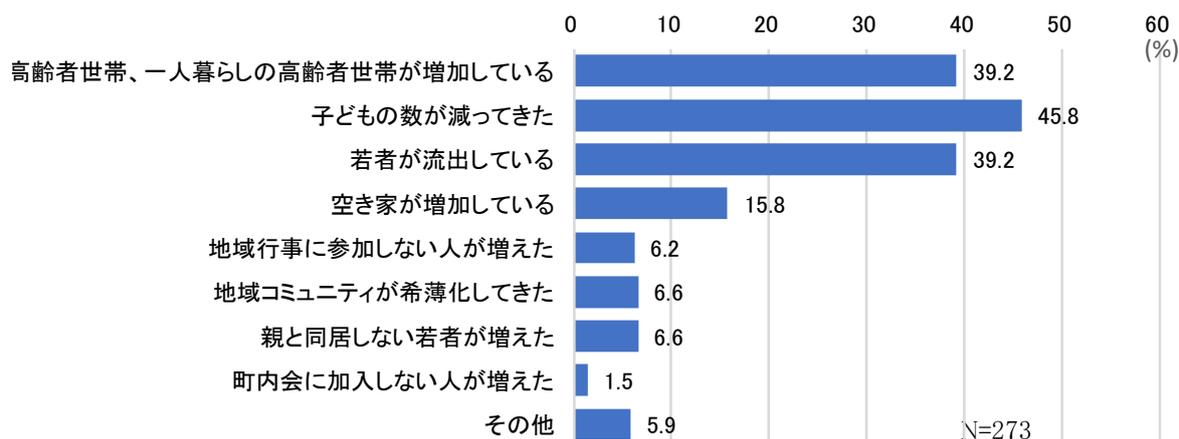


〈前回の調査結果〉



【問9】 あなたの地域の課題についてお聞かせください。〈MA〉

- 「子どもの数が減ってきた」が45.8%、「高齢者世帯、一人暮らしの高齢者世帯が増加している」と「若者が流出している」が39.2%と多くなっています。
- 前回と比べると、上位3つの順位に変化はないものの、「子どもの数が減ってきた」と捉えている人が増えています。



〈前回の調査結果〉

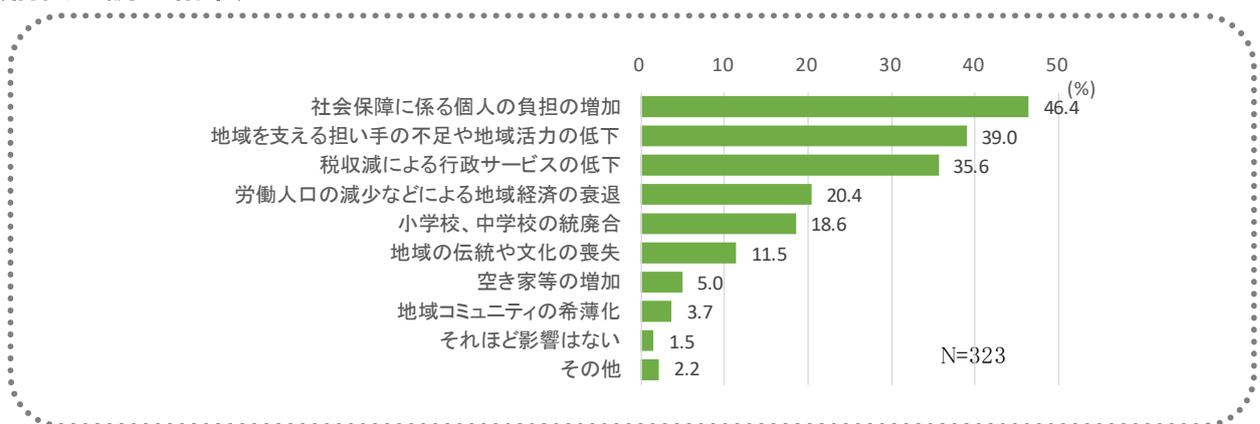


【問 10】人口減少が進行していった場合に生じる社会への影響について、あなたが、影響が大きいと考えること及び不安に感じることをお聞かせください。〈MA〉

- 「社会保障に係る個人の負担の増加」が 42.1%、「地域を支える担い手の不足や地域活力の低下」と「税収減による行政サービスの低下」が 34.4%、「小学校、中学校の統廃合」が 24.9%と多くなっています。
- 前回と比べると、上位3つの順位に変化はないものの、「小学校、中学校の統廃合」が 18.6%から 24.9%に上昇しています。

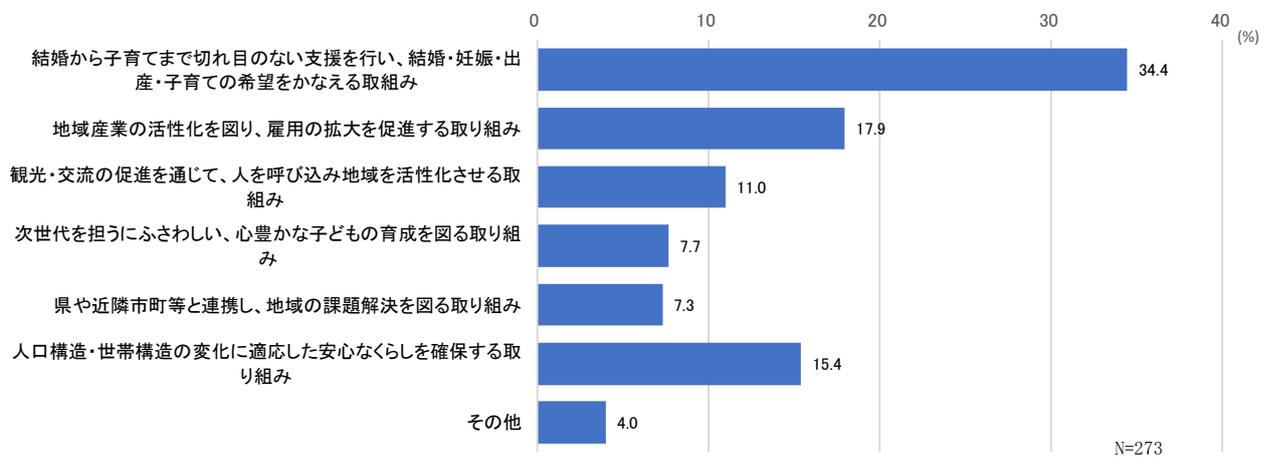


〈前回の調査結果〉

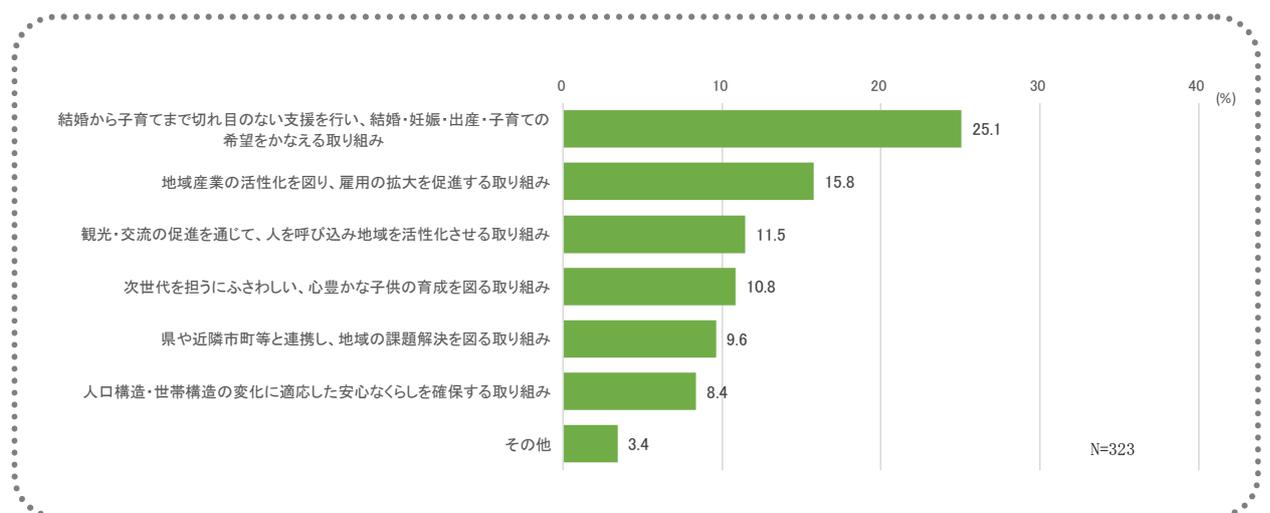


【問 11】森町が人口減少を克服し活力ある社会を目指して、今後取り組むべきことについて、最も重視すべきことをお聞かせください。〈SA〉

- 「結婚から子育てまで切れ目のない支援を行い、結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる取り組み」が34.4%で最も多く、次いで「地域産業の活性化を図り、雇用の拡大を促進する取り組み」が17.9%、「人口構造・世帯構造の変化に適応した安心なくらしを確保する取り組み」が15.4%と多くなっています。
- 前回と比較すると、「人口構造・世帯構造の変化に適応した安心なくらしを確保する取り組み」が8.4%から15.4%に上昇しています。人口の減少や、高齢化等により世帯構成の変化が起きており、時代に合った対応への関心が高まっていることが見受けられます。

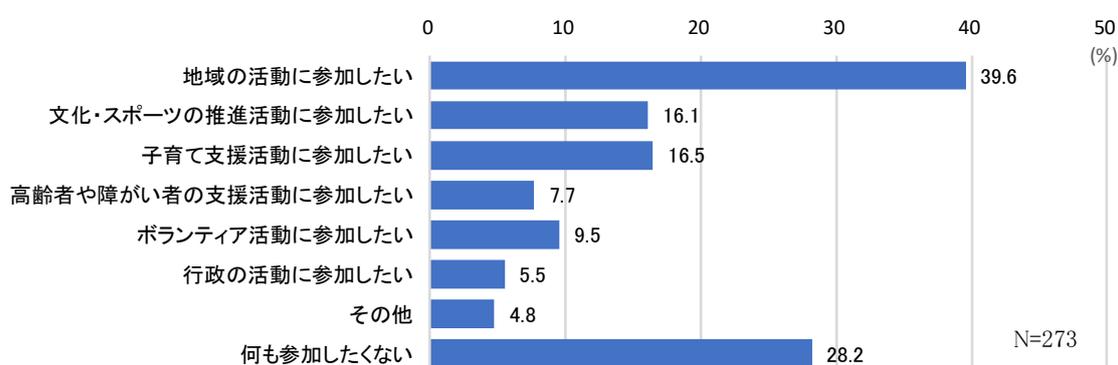


〈前回の調査結果〉

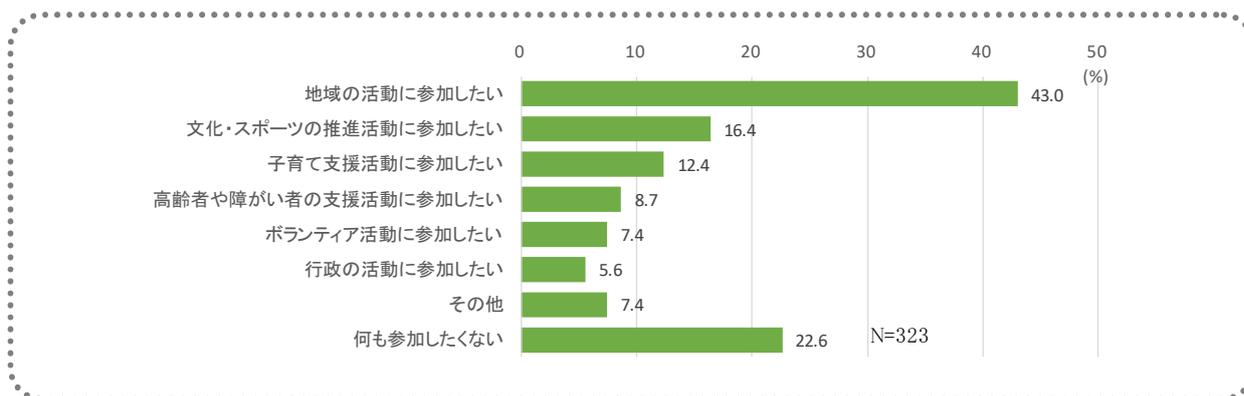


【問 12】 人口の減少、少子高齢化が進むなか、あなたご自身が心がけようと思うことはありますか。〈MA〉

- 「地域の活動に参加したい」が最も多く 39.6%となっています。
- 一方、「何も参加したくない」は 28.2%となっています。
- 前回と比較すると、「地域の活動に参加したい」が 43.0%から 39.6%へと減少し、「何も参加したくない」が 22.6%から 28.2%へ増加していることなどから、地域の活動への関心がやや低くなっていると思われます。



〈前回の調査結果〉

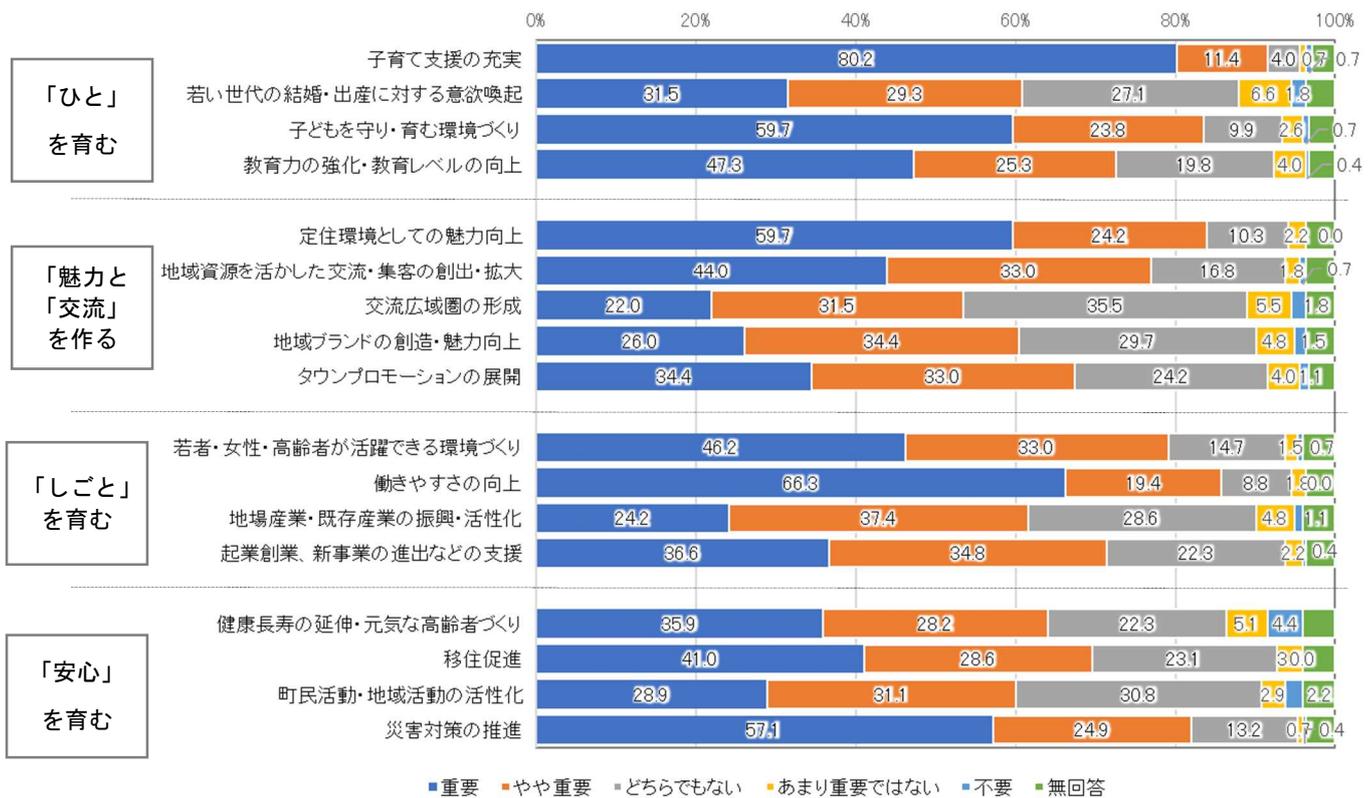


4 第1期の施策について

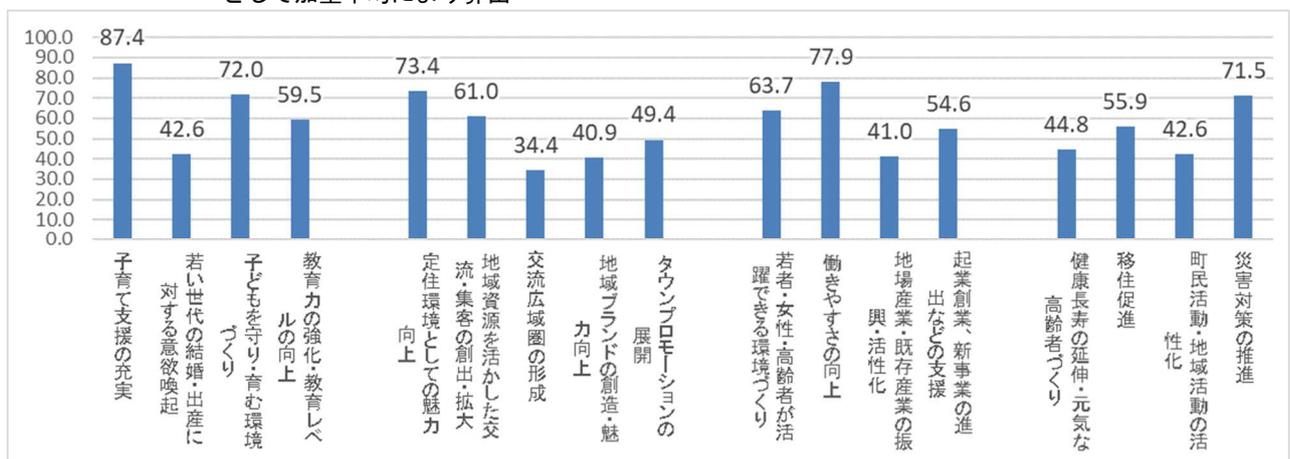
【問13】 第1期の「森町人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略」で進めている施策の満足度と重要度について、あなたの考えはどれにあてはまりますか。〈SA〉

〈重要度〉

- 重要度の高い施策は、「子育て支援の充実」、「働きやすさの向上」、「定住環境としての魅力向上」、「子どもを守り・育む環境づくり」、「災害対策の推進」などとなっています。

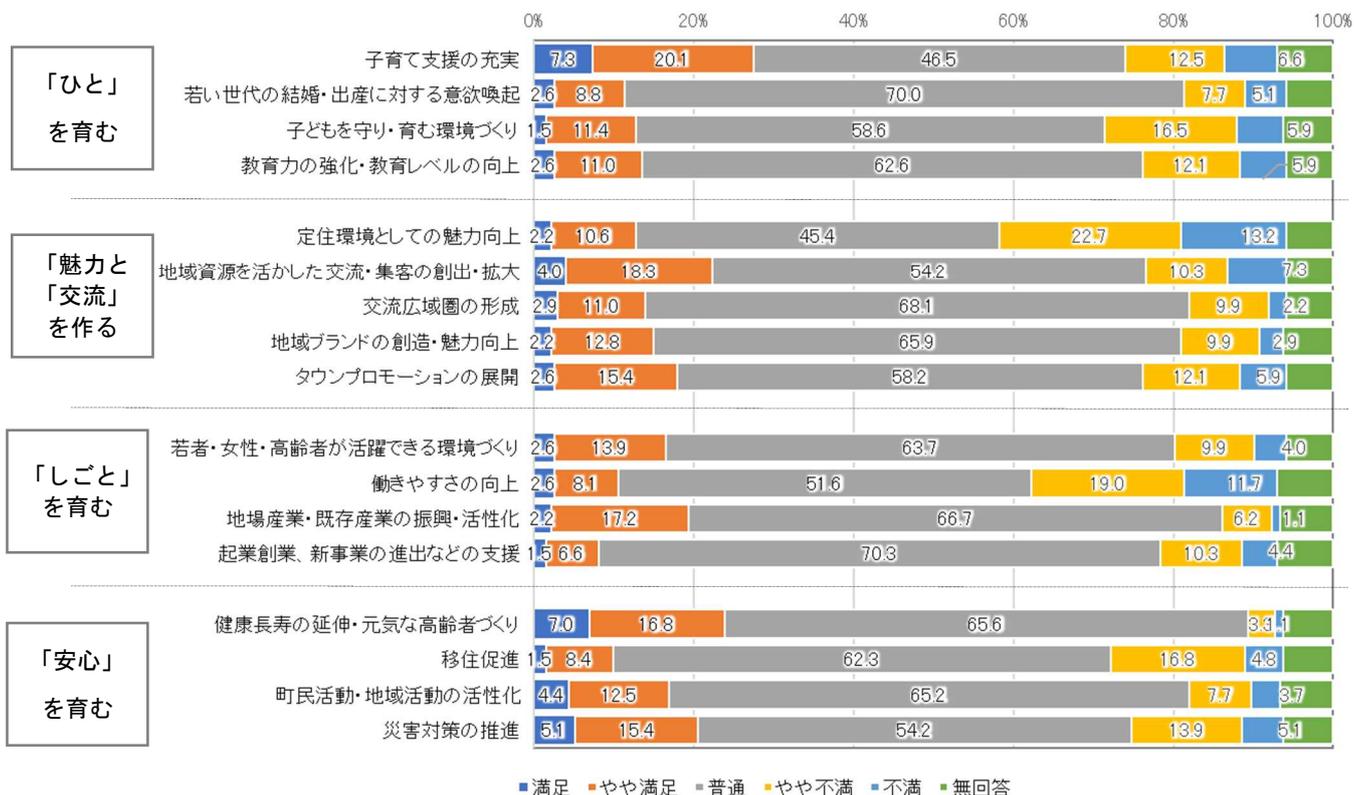


【重要度指数】「重要」100、「やや重要」50、「どちらでもない」0、「あまり重要でない」-50、「不要」-100として加重平均により算出

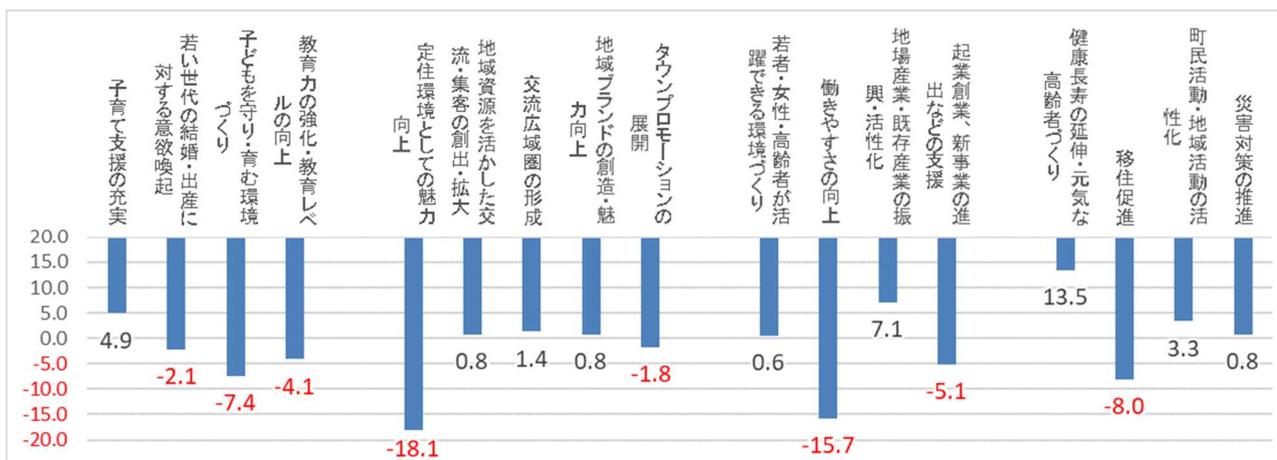


〈満足度〉

- 満足度の高い施策は、「健康長寿の延伸・元気な高齢者づくり」、「地場産業・既存産業の振興・活性化」、「子育て支援の充実」などとなっています。
- 満足度の低い施策は、「定住環境としての魅力向上」、「働きやすさの向上」、「移住促進」などとなっています。



【満足度指数】「満足」100、「やや満足」50、「普通」0、「やや不満」-50、「不満」-100として加重平均により算出



(3) 自由意見

「森町」について、自由に意見をいただきました。

①子ども・子育てについて

【子育て支援、保育の充実、親の負担軽減について】

- 学童の預かり時間は18時までとなっているが町内在中の職場であれば迎えまで十分であるが、町外で働いていると難しい。また、小、中学校が合併となり、遠くに住んでいる子供に負担がかかっているのではないかと、スクールバスなどで安全に通学、帰宅できるようにしていくべきではないか。また、高齢者の通院支援などを手厚くすべきだと思う。
- 幼稚園、保育園、小中学校や病院、児童館、公園など子育て環境が整っていて、とても子育てしやすい町だと思う。ただ、高校通学を考えると通いづらいと思う（天浜線は運賃が高い）大雨警報だけで自宅待機は考え直して欲しい。
- 自然がいっぱいで子供たちは虫を探したり毎日とても楽しく過ごしています。だんだん子供が減っているのでクラスが1クラスしかないのが不安です。無職でも働く意欲がある母親はたくさんいるので、保育園や学童を充実させて欲しいです。
- 子供を出産した後転居して来たが、子供の将来の通学など幅が狭くならないようにと思う。
- 高齢者や長寿にばかり力を入れて、子育て世代のことを考えていないのでは？これでは少子高齢化、若い人流出はあたりまえ。現況の森町に死ぬまで住みたいとは思えない。
- 子供のいる世帯にかかる消防、子供会などの役の負担を減らして欲しい。核家族など両親しかいなければ親なしの時間ができてしまう。もっと子供と過ごせる時間をつくれるようにして欲しい。小学校も夏休みなど一時学童保育などしてほしい。みんなが暮らしやすい、森町離れをしない町にして欲しい。
- 子育てしながら働きやすい職場がほしい。警報による休校時の対策。休校が多いので働きにくい。
- 子供たちの学力向上について考え直して欲しい。今年度はコロナの影響を受け、休校があったが、災害により自宅待機でさらに授業が遅れました。あきらかに晴れて今後天候も崩れることがない予報なのに警報が出ていくことができない子供たち。となりの袋井市、掛川は登校でした。教育委員会に相談しても「難しい」とのことでした。森町全体で見のではなく、事情によっては地区ごとで判断するなどの体制をとって臨機応変に動ける体制でないとかあったとき、今後対応できないのではと不安に思います。
- 幼稚園について
 - 半日帰り、弁当の日が多すぎる！！働いている人が増えているので親の負担を減らして欲しい。何度も意見しているけど、何も改善されない。毎日14時帰り、弁当はイベントの時だけにしてください。
 - 一時預かりが取りづらくて困っています。仕事以外にも病院、色々な理由があります。半日の時は、弁当を持たせないといけません。作って洗って、とても大変です。ぜひ改善をお願いします。
 - 警報一つで休園、休校になるので仕事ができません。預かってもらうこともなかなか難しいのでとても困ります。袋井、掛川と同じ基準で判断をお願いします。警報が出ていても、行けそうな日はたくさんありました！！”
- 散歩をしていると小学生や中学生が自然と挨拶をしてくれ、素直で元気な子供たちが多く印象を受

けます。森町大好きなので、頑張ってもらいたいです。子育て世代としては、子育て支援はとても重要だと感じます。

- 他の市町と比べ子育て支援がとても少なく思えます。(医療費が無料ではないなど)
- 森町で子育てをしたいとはあまり思えません。
- 大雨警報による休校が近隣市町と比べ多すぎる。森の奥地と袋井寄りの地域と警報による休校などの対応範囲を分けて欲しい。今回の梅雨時の森町の休校についても他市町の人に驚かれた。つゆ、大雨、台風のたびに森町の子供たちは学習する機会を奪われている。本当に休校の必要がある時のみの休校を望みます。急な休校の度小さな子は留守番ができないため母親は仕事を休まなければならない、こんな事が続くとクビになってしまいます。ただでさえ森町は田舎で幼稚園、小学校行事、地域活動の負担が子育て世代には大きいのに加え、度重なる休校と……。とても子育て世代への移住などはすすめられない。せっかく緑豊かでのどかなのにもったいないと思う。
- 保育園の選択肢が少なすぎる。
- 今後森町で出産、子育てを予定しています。不安もありますが、地域とともに暮らしを育てていきたいと思っています。
- 私の子供は発達障害で支援を受けていますが、掛川の管轄です。森町の保健福祉課に相談しても何も得られる情報はありませんでした。対応もしてくれず掛川の支援先に丸投げ状態です。子供を森町で育てていく事が(子供の将来が)とても不安です。もっと理解者が増え、対応できる方(知識のある方)が増え、情報をキャッチしやすい環境になれば子供の発達に悩んでいるご家族が今よりぐっと安心してこの森町で暮らすことができます。障害を持つ子は年々増加しています(主に発達障害)森町でも支援を受けられる体制を作っていただきたいです。
- コロナの影響で集団行動ができにくい世の中の動向になる中、新しい子育て、育成のあり方も出てくると思います。閉鎖する行動をとらせることも重要ですが、人々がふれあわないが一緒に過ごせる環境作りを率先して行い、住みやすい街にしてください。
- 収入が少ないのに保育料が高すぎる。収入によって違いはあるが、それでも高いと思う。正社員、時短で働いているが毎月半分が保育料になっている。
- 森町で子育てをされていて児童館、図書館、病院など混むことなく町のサービスを利用できているし、保育園にも入れてもらえた。子育てしやすい環境だとは思いますが、ただ核家族化が進んでいるので地域の行事や消防団等町のためになる活動が家庭の時間をけずり、母親の負担増になってしまっているとは感じる。コロナで夫婦ともに休日家にいる状況が増え、家事や子育てを二人でやるよい機会となっている気がする。
- 妊婦健診だけでなく、出産までできるクリニックや病院があるといいなと思います。
- 女性が仕事、育児をもっと両立できる環境が増えれば良い。子供を預けられる施設(安心して)がもっとできれば親としても仕事ができるのではないかと思います。
- 三歳以下の子供を育てている時、次の出産を希望していても上の子の預かり先がなくてあきらめてしまいました。保育園もせっかく入れたのに出産で退園となってしまうので残念です。仕事もパートのため出産で退職となってしまうことがネックとなっています。
- 結婚はしていますが子供はいません。望んでいますが不妊によりまだできません。不妊治療も考えますが仕事があると治療に専念できません。でも仕事をしないと高い治療費は大変です。不妊治療は経済的以外にもハードルが高いです。経済的な面だけでももっと支援があると良いです。20代

の若い方でもなかなか授からず悩んでいる方は多いです。高齢で出産した場合、障害児のケースも多いのでそんな子供への環境も整えてもらいたいです。

- 先日第二子が産まれた際に、祝い金として10万円をいただけたことに驚きました。自分の親も昔はなかったとびっくりしていました。他の市町村でも苗木や記念品などがありますが、現金がもらえるということはもっとアピールしても良いと思います
- 人が少ない町に住むということは、町民活動、地域活動を強いられるという事であり、今の若い人はますます来ない。他の市町よりも若い世代、子育て、子供に対する経済的助成を前面に押し出し、アピールすることが一番の近道。現状子供医療助成など他市町より劣っている事柄があるにもかかわらず、移住を求めるのは虫が良すぎる。
- コロナに関して森町の対応で残念だった事があります。育児休業からの復職による保育園入所の期限延長に関してのお知らせがホームページにでたのが5月15日でした。磐田市は4月17日、掛川市は4月28日、袋井市は5月1日と周辺市と比べて1～2週間ほど遅い対応でした。原因の一つとして考えられるのは、周辺市には子育て関係の専門部署があるということだと思っています。平時ならそれほど気にしない事ですが、今回のコロナ禍で不安がある中、周辺市では対応していることを自分が住んでいる森町では対応していない状況にとても不安が大きくなりました。せめて周辺市と同じくらいの対応スピードにして欲しいです。現状でもし子育て世代の移住希望者から意見を求められたら森町はおすすめできません。※担当の方、園の方はしっかり相談にのってくれました。行政のシステムの問題だと思っています。

【子どもの遊び等の環境について】

- 子供が遊ぶ場所がもっとほしい（公園やプール）
- 子供の遊べる場所を増やしてほしい。
- 子供たちが遊ぶ公園、遊具が少なすぎる。町内で自由に遊べる所をもっと作ってほしいです。スケートボードができるようにローラースケート場を整備してほしいです。よろしく願いいたします。
- 公園で遊ぶ子供がいません。こんなに公園が多いのにもったいないです。
- 子供が遊べる大きな公園があったらいいです。
- 子供が遊べる少し大きめな施設などがあるとうれしい（公園やプールなど）
- 子供を連れて歩くには危ない道が多く感じるので、歩道の整備やミラーの増設などしてもらえればもっと外に出かけていきたいと思う。
- 子供たちが気軽にに行ける身近な公園の整備

【教育について】

- 自分が受けてきた教育を思い出しても、自分の子供に将来受けさせたいと思わないので森町に戻ってこようとは思わない。
- 子供の金銭的な支援は、不満はないが、教育面では統合される三倉小のような地域に密着した教育方法を森小などでも継続していつてもらいたい。
- 国際化が進む中、子供たちの英語教育の強化を充実してほしいと思います。学校だけでなく日常の中で英語を学んで行けたら子供たちだけでなく、大人たちにもいいと思います。まだまだ外国人という偏見を持っている方が多いと思います。以前バハマからの友人から生活しづらいという相談を受けたことがとても印象に残っています。是非交流をもてる事業を進めてほしいと思います。

②定住、移住について

- 少子高齢化→若者の人口を増やすようにしたいですね！
- 今後高齢者が増えていくことが想像できます。子供や高齢者がいる家庭に支援が必要になってくるかと思います。”
- アンケート通り、少子高齢化が進む中、結婚、出産、子育ての支援をより充実させる、そのためにはまずやはり住みたいと思える街作りが大事だと思います。都会にまでならなくともそれまでくらいに充実した町になるように情報発信したり支援が必要だと思います。森町は山あり川あり自然が豊かで農作物等もたくさんあるのでいいところだと自負しています（笑）
- 若い人が減っていて高齢者が増えている現状では全くといって魅力がない。若い人口が外へ流出するのは働く場がない、住む場として不適當、子育てもしにくいから。田舎に住みたい人へのアピールをもっとしてはどうか。排他的な考えでは今後生きていくのが大変。よその市町村と同じ事をやっても意味がないから若い世代を呼び込むことに重点を置いて政策を講じていくべき。森町ってどこ？と県外の人から聞かれても答えようがない特徴のない町、子供世代には定住させたいと思わない、自分の世代までかなと思う。
- 今生まれてから死ぬまで同じ市町村ですっと住み続けるということはあたりまえではない。移住者を募る、増やす努力をしてほしい。祭りや地域行事も廃れていく一方。
- 地区により土地のあるなしで若い人が家を建てて住むという事の差が大分あります。空き家や更地がある場合、所有者の方が放置せずに活かすように町で声かけ支援をしていただけたらと思います。若い人の定住、他のところからの移住にもつながってほしいです。
- 他県からの若者の移住支援などの取り組みの強化をしたらどうか。
- もっと企業を呼び込むことが大事だと思う。雇用が生まれ小売店でお金が落ちる→移住者も増える。
- 様々な支援も大事だが、まず人がいないと意味がない。まずは移住促進をすすめるべき！！
- 人口減少の進行により、社会に影響がでるという前に、医療体制や子育て支援の充実を徹底し、他の市町村などにPRすれば、森町に興味を持ち、自然と解決できるのではないか。まずは森町民の満足度を上げるべきだと思う。
- 若者の流出、森町から出るという意見はよく耳にします。

③雇用について

- 働きやすい環境、子育てしやすい環境は地域の話合いの場を設け議論が必要。定時の働き方だけでなく、就農、フリーランスなど、時間にとらわれない働き方を模索できたらいいんじゃないかと思う。その上で幼稚園や保育所にも柔軟な体制を作ってほしい。
- 企業の誘致が必要。
- 地域産業を活用しての就職活動をPRしてほしい。農業法人の就業希望者は多いと思います。空き家を使った生活費の補助と農業、林業の仕事をPRし、地元根付く産業として誘致して欲しいと思います。
- 若年層の収入増加希望（手当みたいな形で）

④地域コミュニティについて

- 消防団の上にいる人（本部）考え方が古い（レベルが低い）
- 活動が現代の社会に反比例している。
- 消防活動で会社を辞めた人もいる。どう思います？

- 活動を止めてはいけませんが、入りやすい環境を作る事も大事（無駄な活動が多い）
- 消防本部は北朝鮮と同じような独裁体制を辞めた方がよい！！
- 良くも悪くも町内というくくりをあちこちで感じる。図書カードを作るのに町内会の記載は何のためかと感じた。
- 合併しなかった分、小さい子供から大人までみんなが過ごしやすい森町をこれからもずっと目指してほしい。祭りをなくさないために少しでも良い方法を考えて頑張してほしい。
- 若者流出の原因は青年会、消防団の負担増によるものだと思う。少子化、人口減によりどちらの組織も体制の見直しを図るべき。特に飲酒の強要や参加への無言の圧力はなくしていくべき。人がいないから出るというやり方はもう古い。参加したくなる環境を。
- 森の祭りは有名だけれど、それが負担で他から来たくないという人が何人もいた。
- 町外の人に対して閉鎖的、保守的で柔軟性に欠ける。町内在住者だが、若者が戻って来たがらない気持ちが少しわかる気がする。
- 新規加入者促進に苦勞しているなか、祭典にかかわる諸準備や会合などの負担が昔と変わらない形で年の初めから進められており、どの町内でも社長の年齢に該当者が不在の穴埋めで下からの社員が何年分も負担に追われている状態にある。昨今の会社における情勢が厳しい中で地元の祭典準備にかかわる早退や休みをこの先勤務先で理解されていけるのか不安である。
- 森町は近隣の市に比べ保育園や幼稚園には入りやすいと思う。そのため森町に住んで子育てしたい人もいると思うが、森町に住んだら祭りに強制的に出ないと行けないなどのしらがみがありそこで嫌になってしまう人も多い。祭りや地域行事に無理に参加しなくてもいいようにすれば住む人も増えると思う。
- これからも大変かと思いますが森町のためにご支援いただき、森町の特色を活かした災害にも強いコミュニティとして発展していけるようご尽力いただければと思います。

⑤交通について

- 公共交通機関がこれ以上不便になると親の送迎が必須となり働くことも限られた中になることが心配している。
- 自然豊かで住みやすい子育てするのは良い。高齢者が生きにくい車がないと生きていけない。もう少し交通の便が良かったらと思う。
- 自家用車がないと生活していけない。飲みに行くにも代行かタクシーなど必要だし、老後の運転も不安があるが免許返納すると日々の生活に支障がでる。
- 歩道をバリアフリー化してほしい。交通手段が不便。
- 天浜線の最終の時間を遅くしてほしい。
- 森町の人口（若者の）増やすには、森町に住んでいて良かったと思えるような何かがないと若者は他の県などに行ってしまうと思う。
- 交通の便が悪い。まあしょうがないことかもしれないが、車で移動するしかない。電車とかも一日の本数が少なく終電が早い。”
- 新東名、東名、駅近など交通、便の良さをもっと活かす。
- 近所のお年寄りの方が病院へ行くのにバスがないときがあるので、時々送っていきます。私は少しでも役に立てていれればいいのですが、自分が車にも乗れなくなった時、どうなるのだろうかとも

のすごく不安です。息子がここを出たいといったら反対はできません。

⑥情報発信・観光について

- 私は森町が好きです。もっといろいろな人に森町のことを知ってもらえたらいいなと思います。
- 住む場所として最高の町だと思います。森町の魅力をもっと他に発信していったらいいです。
- 森町を有名にするために有名なタレントさんと呼んで欲しいです。特に今若者に人気のある歌手を呼んでイベントをすることでいろいろな若い人たちに森町にきてもらって知って欲しいです。
- 私も夫もこの辺りの出身ではないですが、知人の紹介でこちらにきました。転入してきた私たちにあって他の市町よりもとても育児も生活もしやすいと思っております。ですが、森町と言って場所や地名を知っている人がほとんどいないです。森に住んでいるということ、山中に住んでいるのかと間違われるほどの地名力です。こんなにいいところなので役場の方には頑張ってもらいたいです。
- 遠州の小京都ではなく遠州の森町としてPRして行ってもらいたい。
- 森町＝自然豊かなイメージが一般的だと思うので、川下りや滝など、やってみたい、行ってみたいと思うイベントがあるといいなと思います。
- 森町はいいものがたくさんあるので、観光に力を入れられるとよいと思います。家族で宿泊できる施設があればとてもよいと思います。星野リゾートのような体験型の宿泊施設など家族連れに良いと思う。また、ゴルフ場やアクティ森、小國神社の散策など、見所などもあるので、今ある施設を利用しながら新しいものができたらいいと思います。机上の空論かもしれませんが。
- 自然を活かした観光などを増やしてもいいのではないかと思います。
- 若い人に喜ばれる街作りの強化（特産物、茶、トウモロコシ、柿などを使った菓子、スイーツなど）
- 今時の情報を同報無線をメインにしていますが時代に合っていない。メールもほとんど配信されていません。袋井市のメローネットの様にラインで情報を得たり、タイムリーな情報を配信してください。市のHPも情報が古く更新されていないことが多い。森町は新しいものを取り入れる事をいやがる人が多いと感じます。それが人口流出へとつながっていると思います。周辺市外と合併を希望します。※住所から「周智郡」を抜いて欲しい。

⑦施設の整備について

- コンビニやカフェ、美容院なども増えていて、若者の行きたいところをとらえていると思いました。
- 今の18から28くらいの年齢のニーズにあう、商業、娯楽施設がない。”
- 森町はとても良い町。住んでいる人にしか魅力が伝わっていないため、もう少しアピールできるような建物やカフェなど、若者が興味を示すものを増やすと良いかもしれないです。まずは森町という場所を認知してもらえとうれしいですね。
- 買い物ができる場所を増やした方がいい。
- 空き家、空き地の手入れをしていく必要がある。
- 山の管理、手入れをしていく必要がある。
- 太田川河川敷親水公園の利用について
- 町民の森
- 新東名森 SA 横駐車場→望月プラザの軽トラ市の場所として使う。
- 駐車場近くで移動式などのカフェ（できれば町民の人の店）などをやったら人がさらに集まるので

はないか。

- 警察署から円田までの通りに商業施設を誘致すれば、スマートインターや袋井、掛川、磐田からの客を呼び出すことができると思う。町中には駐車場がなく商業施設が作りにくそう。広域農道にも活性化できないのかと思う。
- 定住するのに魅力を感じません。アパートは環境が悪く古いにも関わらず、周辺市外と同じくらいの家賃の所ばかりです。新興住宅も少ない。選べない。商業施設も少ないので生活の便が悪い。大手ショッピング店、外食店、チェーン店はほぼありません。コンビニも2社のみ。インターネットで買い物をして時間指定ができない地域だと言われます。子育て支援センターも一カ所のみ。しかも年齢制限がなく、乳幼児が安心して遊べません。おもちゃも古いものが無駄に多い上、汚れやほこりが目立ち、衛生面が悪いです。天候が悪い日に乳幼児が安心して遊べる所は森町にはありません。子供が少ないのに保育園は待機児童も少なくない上、3歳以上は幼稚園で対応させようとする。産科がない。眼科や皮膚科の専門医院もない。買い物、遊び、娯楽、病院、子育ては町外へ出ることがほとんどです。企業を誘致したりし、財政と人を集め町として機能させてください。
- 人が集まるような公園や児童館、商業施設を造る。
- 身軽に運動できる施設の拡充（運動公園の拡充、河川敷へウォーキングコースを作る等）

⑧まちづくり全般について

- 文化として伝統として必要な事かもしれないが、地域の外から来た人にとって祭りの重要性が結びつかない。森町だけではなく西部地域全体に言えることだが、交流も大事だが、今はそれ以上に重要な事があるのではないだろうか。アンケートで満足度を問う前に行政が何を行っているかを周知してください。何もしらんよ。
- 自然豊かな森町だけでは人口減少は止められないと思う。
- 住みやすいと思います。
- まだまだコロナウィルスが続きそうですが、今後どのような対策をしていきますか。頑張ってください。あと、ベルマークとかプルタブを集めているんですけど、回収するところがないので、町で回収してくれるとうれしいです。
- 産まれてからずっと森町に住んでいます。どんな世代の人も暮らしやすい町になったらうれしいです。
- 若者が住みやすいまちづくりをお願いします。
- 袋井市と合併することでもっとできることが増えるのではないのでしょうか。他市町村に対して開かれていないと思います。
- ただいまと言える町です。
- 広義的にみると「町」以上に国の問題と考えるが、財源確保の重要性は理解できるが、住民税や社会保障の控除は生活の負担となっています。
- これからも住みやすい街作りでありたい。
- 森町は住みやすく良い町だが、どうしても町外の仕事場になっていくとそこに近いところに住もうと思ってしまう部分がある。また結婚して戻ってきたいと思う様な支援などをしていけばよいのかも。
- 有害獣の管理につながる。土砂災害などを防ぐことにつながる。移住者や観光につながる。

- 農業、林業の教育が必要。
- 森町に限った話ではないが、閉塞感があり、時代遅れのような印象を受ける。
- 人口減少をどうにか食い止めてほしい。
- 環境（住・子育てなど）については他市からの者からしたらすばらしいと思います。そこを強みにして行けばそこを基盤に土固めしたらいいと思います。がんばってゆきましょう！！
- 農業<商業<工業
- 結婚しても森町に残って住みたいと思える街作り（祭典、消防団等での拘束が目立つ気が・・・）
- 高齢者が多くなる。大変です。
- 高齢者への配慮はあるが若者に対してはあまりないと感じる。
- アンケート調査を実施され、町民の意見を確認いただけることはとてもありがたいと思います。今年一宮地区では7名ほど出産し、人口が増えているようです。私も実感していますが、出産に対する支援が充実しているからだと思います。
- 是非住みたい！と思わせるようなアピールポイントが少ない（商業施設や娯楽施設の充実、公共共通機関の充実、保育園や病児、病後児保育の充実などされると個人的には魅力を感じる。）
- 森町オリジナルの入籍届（カワセミのデザイン、森女プロジェクト）がとてもすてきだなと思います。磐田市と合併した豊岡村や浜松市と合併した春野町や引佐町のように森町も合併して市になった方が若者が増えると思う。
- この町に定住し、地域社会に貢献していきたいと思います。”
- 魅力のある街作りに期待します。
- 町民の数が減少しているので増加するように何か工夫が必要と感じます。
- 町内の活性化が必要（飲食店が少ない。空き家が多い。）”
- 好きで住んでいる街だが「声」が大きい人の意見が優遇されがちな点は幼いころからとても疑問に思っている。声なき声を少しでも拾えるような「仕組み」などを作っていくことが重要ではないのかと思います。
- 森町は自然がきれいでいいところだけど、見るものが少なく立ち寄るには物足りなさを感じます。
- 若い人が住みたいと思える環境作り
- ここ数年の各地方と比べて大きな災害もなく緑豊かな町で環境はとても住みやすいと思いますが、地元の人を受け入れる（他からの）気持ちもう少しこだわりなく押しつけることなどわずらわしさが減ると、人口が増えると思います。そして森町の何でもいいので「ブランド」ができてアピールできるといいと思います。
- いろんな意味でつながりが深い町だと思うので、うまくつきあっていけば住みやすいが町外から来る人は勇気がいる所だと思う。外から来た人に対してもっと入りやすい雰囲気だといいかと思う。高齢者が多いので若い人がもっとたくさんになるとさらに元気になるのではないのでしょうか。
- 若い人たちが流出しないための対策が必要かと思います。雇用、医療、子供を育てるにあたっての支援など幅広い分野での取り組みに期待しています。
- 昨年森町に越えてきて思ったことは空き家が多い、高齢者が多いという事です。夫婦のどちらかが森町出身在中ではないと森町に住もう、住みたいと思いません。働く環境、子育て、医療の充実など袋井、掛川に比べて不十分です。人口は新しい他市町村の人たちが入ってこないと増えません。新東名ができたのでそれを活かしつつ住みたいと思ってもらえるといいと思います。地元のつなが

りが強すぎてよそから来た人はその中に入りづらいです。ショッピングモールや大型公園ができたらすごくうれしいです。

- 高齢者の方が一番心配なので防犯、防災への呼びかけをして安心して暮らしていける街作りに励んでいただけるようお願いします。
- 最近の大雨の時、私たちの所は泉陽中が避難所です。けれど土砂災害警戒区域にはなるし、今は廃校になり、周りが荒れてきています。これで避難所と言えるんですか。
- 各個人に送っているこの用紙代が無駄。

⑨その他

- 森町は妻の故郷であり、転入してからまだ間もないこともあり、アンケート内容について回答に窮する箇所が多々ありました。
- 最近町内で高齢者による危険運転が多いように感じる。いくら元気な方でも重大な事故になってしまってからでは遅い。免許返納を促してほしい。正直町で元気な高齢者作り、健康長寿の里作りなどを謳っている時点で森町の少子高齢化、人口減少は改善せず、悪化するばかりだと思う。このアンケートの問13ですが、どの施策も満足度を評価できるほど実行されていないと思った。アンケート全体的に無作為に1000人にやってもらうより、年代別でアンケート内容を変えて行った方がもっと有益な意見が集められると思う。施策の恩恵を受けている人は評価できても、関係のない人は評価しかねる。やるだけ無駄。
- 各個人に送っているこの用紙代が無駄

Ⅲ 調査票

若年世代の意識・希望調査 ご協力をお願い

日頃から町政に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、現在、国では人口減少、少子高齢化の問題につきまして様々な取組が行われているところでございます。

森町でも、人口が減少し始め、同時に高齢化のスピードも徐々に増し、少子・高齢化の波が押し寄せてきております。人口の減少や流出に歯止めをかけるとともに、住みよい環境を確保し、将来にわたって活力あるまちを維持していくために、平成27年に「森町人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。令和2年度に計画期間が終了するため、令和2年度に第2期の「人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定してまいります。

このアンケート調査は、結婚・育児等の当事者の方々のご意見・ご意向を伺い、第2期の森町人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略」に反映させるために実施するものであり、森町にお住まいの「19歳から40歳」までの方の中から無作為に抽出した1,000人の皆さまにお願いするものです。5年前の状況と比較するため、同じ内容を含んだ調査をさせていただくことをご了承ください。

大変お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和2年8月

森町長 太田 康雄

ご記入にあたってのお願い

- ご回答は、封筒の宛名のご本人様がお答えいただくようお願いいたします。
- ご回答は、黒のボールペン、鉛筆、サインペンなどで、設問ごとの指示により、番号に○印をつけるか、回答欄に直接文字や数字をご記入ください。設問により回答方法が異なりますので、お間違えないようにご注意ください。
- ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。なお、調査の結果は全て統計的に処理し、目的以外に利用することはない、個人に関わる情報が公表されることは一切ございません。

<調査のお問い合わせ先>

森町役場企画財政課 企画係 森町森2101番地1

Eメール：kikaku@town.shizuoka-mori.lg.jp

電話：0538-85-6305

FAX：0538-85-5259

ご記入いただいた調査票は **令和2年8月19日（水）**までに、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて、郵便ポストへ投函してください。

※このアンケート調査はオンラインでもご回答いただけます。

右のQRコードをスマートフォンでスキャンいただくか、下記のURLを入力して、ウェブサイトを訪問し、流れに沿ってご回答ください。

<https://www.shinsei.elg-front.jp/shizuoka2/uketsuke/form.do?acs=kibou>



※アンケート番号は、回答重複を確認するものであり、個人を特定するものではありません。

アンケート番号

若年世代の意識・希望調査

1 あなたご自身について

問1 あなたご自身のことについて、あてはまる番号を選んで1つに○印をつけてください。

(アンケートご記入時点の状況でご回答ください。)

(1)性別	1 男性	2 女性	
(2)年齢	1 19歳	2 20歳～24歳	3 25歳～29歳
	4 30歳～34歳	5 35歳～40歳	
(3)住まいの地区	1 三倉地区	2 天方地区	3 森地区
	4 一宮地区	5 園田地区	6 飯田地区
(4)職業	1 農林水産業	2 会社員・会社役員	
	3 公務員・団体職員	4 自営業(商店・工場・家族従業者含む)	
	5 専門職(医師・弁護士・税理士等)	6 自由業(作家・芸術家等)	
	7 パート・アルバイト	8 家事(主婦・主夫)	
	9 学生	10 無職	
	11 その他()		
(5)通勤・通学先	1 森町内	2 森町外の静岡県内市町村 ()	
	3 静岡県外()	4 自宅(自営業所)	
(6)家族構成	1 ひとり暮らし	2 夫婦ふたり暮らし	
	3 親と同居(二世帯)	4 子と同居(二世帯)	
	5 親と子と同居(三世帯)	6 その他 ()	
(7)住まいの住宅	①所有形態		
	1 持ち家	2 借家	3 家族の持ち家(親の家等)
	4 その他()		
②住宅の種類			
1 戸建て住宅	2 集合住宅		
3 その他()			
(8)世帯の総年収	1 200万円未満	2 200～400万円未満	
	3 400～600万円未満	4 600～800万円未満	
	5 800～1,000万円未満	6 1,000万以上	

2 結婚について

問2 結婚しない人や、晩婚の人が増えていると言われる中、おもな原因は何だと思えますか。

<○印2つまで>

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1 異性と知り合うゆとりや機会が少ない | 2 一人でも十分な生活が送れる |
| 3 自由な生き方を望む人が増えている | 4 対人関係が煩わしく、苦手な人が増えている |
| 5 フリーターや所得が低い人が増えている | 6 女性の地位向上や高収入化が進んでいる |
| 7 親から自立できない人が増えている | 8 子どもを欲しいと思わない人が増えている |
| 9 適当な相手を探す手段が無い | 10 結婚する必要性を感じない |
| 11 その他 () | |

問3 一般的に、結婚適齢期は何歳だと思いますか。

	歳
--	---

問4 あなたは、ご結婚されていますか。 <○印1つ>

- | | |
|--------------------------------|----------------------------------|
| 1 既婚（結婚している）
→ 問4-①へ進んでください | 2 未婚（結婚していない）
→ 問4-②～④へ進んで下さい |
|--------------------------------|----------------------------------|

【問4で「1 既婚」と回答された方におたずねします。（問4-①）】

問4-① あなたは、何歳で結婚されましたか。

	歳
--	---

【問4で「2 未婚」と回答された方におたずねします。（問4-②～④）】

問4-② あなたが、結婚していない主な理由はどのようなことですか。 <○印3つまで>

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1 結婚するには若すぎる | 2 結婚する必要性を今は感じない |
| 3 今は、仕事（学業）に打ち込みたい | 4 結婚したいと思う相手にめぐり逢わない |
| 5 今は、趣味や娯楽を楽しみたい | 6 結婚資金が足りない |
| 7 独身の自由さ・気楽さを失いたくない | 8 結婚生活のための住居の目途がたたない |
| 9 交際相手が結婚をまだ望んでないから | 10 親や周囲が結婚に同意しない |
| 11 異性とうまく付き合えない | 12 その他 () |

問4-③ あなたは、今後、結婚したいと思いますか。 <○印1つ>

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1 すぐにでも結婚したい | 2 婚約中である |
| 3 2～3年以内には結婚したい | 4 いずれは結婚したい |
| 5 わからない | 6 結婚したくない |

【問4-③で「1」～「4」と回答された方におたずねします。】

問4-④ 結婚したい人が結婚するためには、どのような支援が必要であると思いますか。

<〇印2つまで>

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1 異性と巡り合う機会の提供 | 2 仲人役が異性を紹介する支援 |
| 3 結婚についての相談体制の整備 | 4 結婚支援についての情報提供 |
| 5 仕事と家庭生活の両立支援 | 6 就労についての支援 |
| 7 妊娠・出産・育児に対する支援 | 8 結婚活動に関する講座・セミナーの充実 |
| 9 その他 () | |

3 子ども・子育てについて

問5 あなたは、子どもはいらっしゃいますか。 <〇印1つ>

- | | |
|-------|------------------|
| 1 いる | → 問5-①～⑥へ進んでください |
| 2 いない | → 問5-⑦～⑨へ進んでください |

【問5で「1 いる」と回答された方におたずねします。(問5-①～⑥)】

問5-① あなたの子どもの数、またお生まれになったのは何歳のときですか。

子どもの数 <〇印1つ>	1 1人	2 2人
	3 3人	4 4人以上
お生まれになった年齢	1人目 (歳)	4人目 (歳)
	2人目 (歳)	
	3人目 (歳)	

問5-② あなたの子どもの数は、希望されたとおりでしたか。 <〇印1つ>

- | | |
|------------------------------|----------------|
| 1 希望したとおりであった。 | → 問5-④へ進んでください |
| 2 希望したとおりではなかった。(希望していた人数 人) | → 問5-③へ進んでください |

【問5-②で「2 希望したとおりではなかった。」と回答された方におたずねします。】

問5-③ 希望どおりではなかった理由は何ですか。 <〇印2つまで>

- | | |
|------------------|--------------|
| 1 年齢的な理由 | 2 身体的な理由 |
| 3 経済的な理由 | 4 住宅環境による理由 |
| 5 労働条件・労働環境による理由 | 6 子育て環境による理由 |
| 7 その他 () | |

問5-④ あなたもしくは配偶者の妊娠・出産にあたり、不安なことはありましたか。

<〇印2つまで>

- | | |
|--------------|----------------|
| 1 産まれる子どものこと | 2 自身・配偶者の体調のこと |
| 3 経済的なこと | 4 協力者がいないこと |
| 5 育児のこと | 6 仕事(学業) |
| 7 出産する施設のこと | 8 その他 () |

問5-⑤ 子育てについて、不安なことはありますか。 <〇印2つまで>

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1 子育てを助けてくれる人がいない | 2 子育ての仕方が分からない |
| 3 子どもの育ちに不安 | 4 預かってくれる人がいない |
| 5 配偶者の協力が無い | 6 相談者がいない |
| 7 自分の時間が確保できない | 8 子どもの文句や不平 |
| 9 夫婦二人の時間が確保できない | 10 その他 () |

問5-⑥ 子育て情報は、おもに誰・何から収集しましたか。 <〇印2つまで>

- | | |
|-----------------|------------|
| 1 親・兄弟・姉妹・親戚 | 2 近所の知人 |
| 3 友人 | 4 書籍・雑誌・新聞 |
| 5 かかりつけの医師 | 6 幼稚園・保育所 |
| 7 町の子育て関連担当窓口 | 8 インターネット |
| 9 情報を得る手段が分からない | 10 その他 () |

【問5で「2 い無い」と回答された方におたずねします。(問5-⑦~⑨)】

問5-⑦ あなたは、将来、子どもがほしいと思いますか。 <〇印1つ>

- | |
|-----------------------------|
| 1 ほしい(望む人数 人) → 問6へ進んでください |
| 2 ほしいと思わない → 問5-⑧~⑨へ進んでください |

【問5-⑦で「2 ほしいと思わない」と回答された方におたずねします。】

問5-⑧ 子どもがほしいと思わない理由は何ですか。 <〇印2つまで>

- | |
|-----------------------------|
| 1 結婚するつもりがないから |
| 2 仕事や趣味を優先したいから |
| 3 妊娠・出産が大変だから |
| 4 育児が大変だから |
| 5 育児と仕事の両立が困難だから |
| 6 子どもが好きではないから |
| 7 夫婦の時間を大切にしたいから |
| 8 保育サービス等の支援が不十分だから |
| 9 育児に家族の協力が得られないから |
| 10 子育てにお金がかかるから |
| 11 身体上(健康上)の理由で、妊娠・出産が困難だから |
| 12 配偶者・パートナーが子供をほしがらないから |
| 13 その他 () |

【問5-⑦で「2 ほしいと思わない」と回答された方におたずねします。】

問5-⑨ 子どもがほしいと思わない理由が解消されたとしたら、ほしいと思う子ども数は何人ですか。

	人
--	---

問9 あなたの地域の課題についてお聞かせください。〈○印2つまで〉

- 1 子どもの数が減ってきた
- 2 若者が流出している
- 3 高齢者世帯、一人暮らしの高齢者世帯が増加している
- 4 親と同居しない若者が増えた
- 5 空き家が増加している
- 6 地域行事に参加しない人が増えた
- 7 町内会に加入しない人が増えた
- 8 地域コミュニティが希薄化してきた
- 9 その他 ()

問10 人口減少が進行していった場合に生じる社会への影響について、あなたが影響が大きいと考えること及び不安に感じることをお聞かせください。〈○印2つまで〉

- 1 税収減による行政サービスの低下
- 2 社会保障に係る個人の負担の増加
- 3 地域を支える担い手の不足や地域活力の低下
- 4 労働人口の減少などによる地域経済の衰退
- 5 地域の伝統や文化の喪失
- 6 小学校、中学校の統廃合
- 7 空き家等の増加
- 8 地域コミュニティの希薄化
- 9 それほど影響はない
- 10 その他 ()

問11 森町が人口減少を克服し活力ある社会を目指して、今後取り組むべきことについて、最も重視すべきことをお聞かせください。〈○印1つ〉

- 1 結婚から子育てまで切れ目のない支援を行い、結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる取り組み
- 2 次世代を担うにふさわしい、心豊かな子供の育成を図る取り組み
- 3 地域産業の活性化を図り、雇用の拡大を促進する取り組み
- 4 観光・交流の促進を通じて、人を呼び込み地域を活性化させる取り組み
- 5 人口構造・世帯構造の変化に適応した安心な暮らしを確保する取り組み
- 6 県や近隣市町等と連携し、地域の課題解決を図る取り組み
- 7 その他 ()

問12 人口の減少、少子高齢化が進むなか、あなたご自身が心がけようと思うことはありますか。〈○印2つまで〉

- 1 地域の活動に参加したい
- 2 ボランティア活動に参加したい
- 3 子育て支援活動に参加したい
- 4 文化・スポーツの推進活動に参加したい
- 5 高齢者や障がい者の支援活動に参加したい
- 6 行政の活動に参加したい
- 7 何も参加したくない
- 8 その他 ()

5 第1期の施策について

問13 第1期の「森町人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略」で進めている施策の満足度と重要度について、あなたの考えはどれにあてはまりますか。
満足度と重要度、それぞれについてお答えください。〈最も近いもの、それぞれ1つに○印〉

		重要度について					満足度について					
		重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	不要	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	
記入例	子育て支援の充実	①	2	3	4	5	1	②	3	4	5	
「ひとを育む」	1 【基本的方向】 町で若い世代が結婚や出産に希望を持ち、子育てを楽しめるまちをつくる。											
	1	子育て支援の充実 例) こども医療費助成事業、待機児童ゼロ対策事業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2	若い世代の結婚・出産に対する意欲喚起 例) 結婚相談体制の充実、婚活イベントの充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3	子どもを守り・育む環境づくり 例) 国や県と連携した、子育てが社会的に評価される仕組みの構築、男女共同参画社会の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4	教育力の強化・教育レベルの向上 例) 英語教育支援事業、多様な学習機会の提供、ふるさと教育の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「魅力と交流をつくる」	2 【基本的方向】 町の魅力を高め多様な交流が生まれるにぎわいにあふれたまちをつくる。											
	1	定住環境としての魅力向上 (住みたいと思えるまちづくり) 例) 公共交通政策のあり方研究、空き家の活用方策の検討	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2	地域資源を活かした交流・集客の創出・拡大 例) 遠州の小京都を核とした観光地づくり、観光情報の発信機能の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3	交流広域圏の形成 例) 周辺市町との連携充実、北海道森町児童生徒友好親善事業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4	地域ブランドの創造・魅力向上 例) 学校と連携し特産品を活用した新商品の研究・開発	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5	タウンプロモーションの展開 例) 町のSNS 等による情報発信、遠州の小京都発信事業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	

		重要度について					満足度について				
		重 要	や や 重 要	い ま ま な ら ず	あ ま り 重 要 で な い	不 要	満 足	や や 満 足	普 通	や や 不 満	不 満
「しごと」をつくる	3【基本的方向】町内外に雇用の場があり、誰もがいきがいを感じて働くことができるまちをつくる。										
	1 若者・女性・高齢者等が活躍できる環境づくり 例) 地域おこし協力隊の受け入れ、シルバー人材センター地域活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2 はたらきやすさの向上 例) 共働きができる環境づくり、就労支援の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3 地場産業・既存産業の振興・活性化 例) 急須では茶を飲む町づくりの推進、商工会等への支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4 起業創業、新事業の進出などの支援 例) 若者の就業支援、ふじのくにのフロンティアを拓く取組の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「安心」をつくる	4【基本的方向】町に誇りや愛着を感じながら、いつまでも安心して暮らせるまちをつくる。										
	1 健康長寿の延伸・元気な高齢者づくり 例) 地域包括ケアの総合的な推進、遠州森の茶を飲むまちづくり・健康長寿の里づくりの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2 移住促進 例) 情報発信の強化、相談受入体制の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3 町民活動・地域活動の活性化 例) 自主防災組織の充実、協働のまちづくり推進事業の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4 災害対策の推進 例) 備蓄食料の計画的な購入・更新、可搬型ポンプなどの更新 木造住宅の耐震化 実地的な防災訓練	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

最後に「森町」について、自由なご意見をお聞かせください。

質問は以上です。ご協力、誠にありがとうございました。

ご記入していただいた調査票は、令和2年8月19日(水)までに、同封の返信用封筒(切手は不要です)に入れて、郵便ポストへご投函してください。